

2022

Tokushima University

令和4年度 学生募集要項

総合型選抜

医学部 医学科

感染症等に関する入学者選抜の対応について

新型コロナウイルス感染症拡大による自粛要請等、
入試への影響が懸念される状況となっています。
入試に関する最新情報は、本学ホームページのトップ
ページから入試案内をご確認ください。
(徳島大学入試案内URL)

<https://www.tokushima-u.ac.jp/admission/>

学生募集要項は、PDF版のみとなります



令和3年9月

徳島大学

徳島大学 令和4年度入試実施日程

【大学入学共通テストを課す入試】

(大学入学共通テスト 1/15・16)

区 分	一般選抜			学校推薦型選抜Ⅱ	総合型選抜
	前期日程	後期日程	追試験	(理工学部[夜間主]を除く全学部)	(医学部医学科)
出願受付期間	令和4年1月24日(月) ～2月4日(金)		※※※	令和4年1月18日(火) ～1月21日(金)	令和3年10月22日(金) ～10月29日(金)
書類審査等 (実施する学部等)	第1段階選抜(実施する場合)			第1次選考	第1次選考
	令和4年2月15日(火) <small>(医学部医学科, 歯学部歯学科, 薬学部)</small>	令和4年2月28日(月) <small>(歯学部歯学科, 薬学部)</small>		令和4年2月8日(火) <small>(医学部保健学科を除く)</small>	令和3年11月19日(金) <small>(医学部医学科)</small>
入学試験日	令和4年2月25日(金) <small>(医学部医学科, 歯学部歯学科, 薬学部, 生物資源産業学部は 2月25～26日)</small>	令和4年3月12日(土)	令和4年3月22日(火)	第2次選考 令和4年2月11日(金)	第2次選考※ 令和3年11月27日(土)
合格者発表日	令和4年3月7日(月) (14時)	令和4年3月22日(火) (14時)	令和4年3月26日(土) (14時)	令和4年2月15日(火) (16時)	令和4年2月15日(火)※※ (16時)
入学手続期間	令和4年3月8日(火) ～3月15日(火)	令和4年3月23日(水) ～3月26日(土)	令和4年3月27日(日) ～3月30日(水)	令和4年2月16日(水) ～2月21日(月)	令和4年2月16日(水) ～2月21日(月)

【大学入学共通テストを課さない入試】

区 分	学校推薦型選抜Ⅰ <small>(総合科学部, 医学部医科栄養学科, 理工学部[昼・夜], 生物資源産業学部)</small>	帰国生徒選抜 <small>(総合科学部, 歯学部歯学科, 理工学部[昼])</small>	社会人選抜 <small>(総合科学部, 医学部保健学科看護学専攻, 理工学部[夜])</small>
出願受付期間	令和3年11月1日(月)～11月8日(月)		
第1次選考 (実施する学部等)	第1次選考(実施する場合) 令和3年11月19日(金) <small>(生物資源産業学部)</small>	令和3年11月25日(木)	
入学試験日	医学部医科栄養学科		
	医学部医科栄養学科, 理工学部[昼・夜], 生物資源産業学部	歯学部歯学科, 理工学部[昼]	医学部保健学科, 理工学部[夜]
	総合科学部	総合科学部	総合科学部
合格者発表日	令和3年12月10日(金)16時		
入学手続期間	令和4年2月16日(水)～2月21日(月)		

【私費外国人留学生選抜】

実施学部	総合科学部, 生物資源産業学部	理工学部[昼間]	医学部(医学科, 保健学科) 歯学部歯学科 薬学部
出願受付期間	令和3年12月6日(月)～12月23日(木)		
入学試験日	令和4年2月11日(金)	令和4年2月18日(金)	令和4年2月25日(金)
合格者発表日	令和4年3月7日(月)(14時)		
入学手続期間	令和4年3月8日(火)～3月15日(火)		

※ 第2次選考の通過結果については、令和3年12月10日(金)付で本人に通知します。

※※ 最終合格については、大学入学共通テストの成績を総合して判定した後に発表します。

※※※一般選抜を欠席して追試験の受験を希望する者は、当該試験日の本学の定める時刻までに追試験願受付を行ってください。

理念・目標

<理念>

国立大学法人徳島大学は、自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し向上させ、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。

<目標>

- 【教 育】** 1. 学生が志をもって学び、感じ、考え、生涯にわたって学び続ける知と実践にわたる体系的な教育を行う。
2. 自律して人類の諸問題の解決に立ち向かう、進取の気風を身につけた人材の育成を行う。
- 【研 究】** 1. 自由な発想により真理を探究する研究を行う。
2. 人類の問題を解決する研究を行う。
3. 研究成果を社会に迅速に還元し、国際及び地域社会の平和な発展に貢献する。
- 【社会貢献】** 1. 地域社会と世界を結ぶ知的なネットワークの拠点となり、平和で文化的な国際社会と活力ある地域社会を構築する。
2. 産官学の組織と連携し、社会の発展基盤を支える拠点となり、大学の開放と社会人の学び直しを支援し、地域社会に新産業を創出することに貢献する。

徳島大学は、学校教育法第109条第2項の規定による「大学機関別認証評価」を受け、「大学評価基準を満たしている」と認定されました。(2020年3月24日)

認証評価機関：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構



目 次

入学者受入方針 1	6 合格者の発表80
共 通 事 項 27	7 入学手続80
1 入学者選抜の概要 27	学校推薦型選抜Ⅱ82
2 募集人員 27	1 募集人員及び推薦人員82
3 各選抜の実施方法 28	2 推薦要件及び選抜方法等 83
4 不正行為 30	3 出願手続 103
5 障がいのある入学志願者との事前相談 30	4 本学受験票について 106
6 入試過去問題の使用 31	5 その他の注意事項 106
7 大規模自然災害により被災した 入学志願者の検定料免除 31	6 合格者の発表 106
8 検定料の返還 31	7 入学手続 106
9 欠員補充の方法 32	帰国生徒選抜 108
10 入学案内 32	1 募集人員及び出願資格 108
11 個人情報取扱い 33	2 選抜方法 108
12 入学試験の成績等の開示 34	3 出願手続 109
13 大学案内等の入手・請求方法 34	4 本学受験票について 112
14 ノートパソコン必携化についてのご案内 36	5 その他の注意事項 112
一 般 選 抜 37	6 合格者の発表 112
1 募集人員 37	7 入学手続 112
2 出願資格 38	社 会 人 選 抜 114
3 選抜方法 38	1 募集人員及び出願資格 114
4 出願手続 56	2 選抜方法 114
5 本学受験票について 59	3 出願手続 115
6 その他の注意事項 59	4 本学受験票について 118
7 合格者の発表 59	5 その他の注意事項 118
8 入学手続 59	6 合格者の発表 118
7 入学手続 59	7 入学手続 118
総合型選抜61	私費外国人留学生選抜 120
1 募集人員61	1 募集人員 120
2 出願要件及び選抜方法等61	2 出願資格 120
3 出願手続65	3 選抜方法 123
4 本学受験票について67	4 出願手続 125
5 その他の注意事項67	5 本学受験票について 128
6 合格者の発表 68	6 合格者の発表 128
7 入学手続68	7 入学手続 128
学校推薦型選抜Ⅰ69	8 徳島大学留学生ポータル 129
1 募集人員及び推薦人員69	9 その他の注意事項 130
2 推薦要件及び選抜方法等70	そ の 他
3 出願手続77	1 「活動報告書」の作成要領について 132
4 本学受験票について80	2 令和5年度徳島大学入学者選抜における 変更事項について 134
5 その他の注意事項80	3 一般選抜追試験受験者について 138

この「学生募集要項」の内容は、令和3年7月公表の「令和4年度入学者選抜要項」の上記赤枠部分の抜粋版となります。

出願方法について

インターネット出願

インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の必要書類を郵送する方法（以下、「インターネット出願」という。）

対 象 : 全選抜区分
(一般選抜, 総合型選抜, 学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ,
帰国生徒選抜, 社会人選抜, 私費外国人留学生選抜)

教科・科目名の略称について

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力検査の出題教科・科目名及び出願資格の履修教科・科目名は、略称を用いる箇所では次のように表記します。

教科名	科目名
国語→国	国語→国
地理歴史→地歴	「世界史A」→「世A」 「世界史B」→「世B」 「世界史」→「世」 「日本史A」→「日A」 「日本史B」→「日B」 「日本史」→「日」 「地理A」→「地理A」 「地理B」→「地理B」
公民→公民	「現代社会」→「現社」 「倫理」→「倫」 「政治・経済」→「政経」 「倫理, 政治・経済」→「倫・政経」
数学→数	「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」→「数Ⅰ・数A」 「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」→「数Ⅱ・数B」 「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」 「簿記・会計」→「簿」 「情報関係基礎」→「情報」 「工業数理基礎」→「工」
理科→理	「物理基礎」→「物基」 「化学基礎」→「化基」 「生物基礎」→「生基」 「地学基礎」→「地学基」 「物理」→「物」 「化学」→「化」 「生物」→「生」 「地学」→「地学」
外国語→外	「英語」→「英」 「ドイツ語」→「独」 「フランス語」→「仏」 「中国語」→「中」 「韓国語」→「韓」
総合問題→総合	総合問題→総合

入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）

全学の受入方針

徳島大学は、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）*及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）*のもと、卓越した学術及び文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった、次のような人を求めています。

●求める人物像

- ① 高等学校等時に、真摯な態度で学習や多様な活動に意欲をもって取り組み、大学入学後も他の学生・教職員とともに切磋琢磨しながら、学び続ける意志をもつ人
〔求める要素：関心・意欲・態度、協働性〕
- ② 多様な情報に関心をもち続け、自らの自由な発想でその真偽と活用を主体的に判断しようとする人
〔求める要素：関心・意欲・態度、思考力・判断力、主体性、応用力〕
- ③ 本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき文科系・理科系に渡る知識・教養のもと、思考を深めて相手に表現できる人
〔求める要素：知識・教養、思考力・判断力、表現力〕
- ④ 自律して社会や地域の諸問題に意欲をもって立ち向かい、その課題解決を深く掘り下げて伝えようとする人
〔求める要素：関心・意欲・態度、探究力、表現力〕
- ⑤ 他者の意見を真摯に受けとめ、協働して国際社会や地域社会の発展のために貢献しようとする人
〔求める要素：協働性、幅広い視野、創造性〕

※学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）は、本学ホームページの下記 URL にてご覧いただけます。

https://www.tokushima-u.ac.jp/about/information/education_announce/

各学部、学科（専攻）の入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）について（P 2～25） ※必ずお読みください。

本学では、入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）^{〔注1〕}を具体的に示しています。すべての学部、学科（専攻）の入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）は、下記の全項目によって成り立っています。入学を希望される方は、各選抜区分（一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜）における実施教科・科目等と同時に、全項目をしっかりと理解しておいてください。

- 各学部、学科（専攻）でどのような人物を育成するか。
- 求める人物像〔高等学校等で修得すべき具体的な内容を含む〕
入学者に求める能力や資質（学力の3要素*を含めたもの）は何か。
- 入学者選抜の基本方針
各々の入学者選抜（一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜）でどのような力を評価するか。
- 入学者選抜方法における選抜内容^{〔注2〕}
各々の入学者選抜でどのような評価方法を活用するか、またその内容は何か。
- 入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕^{〔注3〕}
各々の入学者選抜方法でどのような力に比重を置くか。

〔注1〕 P 2～23の記載内容は、一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜を対象としています。特別入試（帰国生徒、社会人）、私費外国人留学生選抜の「入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）」についてはP 24, 25をご確認ください。

〔注2〕 大学入学共通テスト、個別学力検査等で課す教科・科目等の詳細は該当ページを必ず確認してください。「入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）」では、紙幅の都合上、大学入学共通テストと個別学力検査（教科に関するもの）の具体的な教科・科目を省略しています。

〔注3〕 ○印を付している項目（求める人物像）は各入学者選抜方法で重点的に評価することを意味します。○印を付していない項目（求める人物像）を全く評価しないということではありません。また、各々の入学者選抜方法に複数の該当選抜区分を記載しているものがありますが、これは、○印の具体的な評価内容がすべて一律であることを意味するものではありません。

※学力の3要素

- ・知識・技能の確実な習得
- ・知識・技能を基にした思考力、判断力、表現力
- ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

総合科学部

■社会総合科学科

人文・人間・社会・地域・情報等の諸科学における専門知識や専門技能、技術を身につけるとともに、専門分野の融合を図ることでグローバル化する現代社会の諸問題や地域課題を的確に理解し、問題解決に対応し得る実践的な人材の育成を目的としています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

グローバル化、少子高齢化、健康社会づくり、地域活性化などの社会的課題や地域課題に関心をもち、総合的な視点から問題解決を志向しようとする人。人文科学・人間科学・社会科学・地域科学・情報メディアの分野に関心をもつ人。21世紀型社会の創生に向けて貢献する進取の精神をもつ人

表現力

自分が伝えたいことを的確な表現を用いて相手に示すことのできる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理系も含めた基礎的な知識・教養を身につけた人
思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

協働性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語—文化・社会の理解に求められる読解と表現（作文）に関わる幅広い基礎知識及びコミュニケーション力

英語—グローバル化社会に求められる読解と表現（作文）に関わる幅広い基礎知識及びコミュニケーション力

地歴・公民—日本を含む世界の出来事に対する関心と、諸地域の地理・歴史についての基礎知識
数学、理科—理系分野の基礎的内容を理解し、論理的に考える力

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは「知識・教養」「思考力・判断力」を、個別試験では「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」をそれぞれ評価し選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは「知識・教養」「思考力・判断力」を、個別試験では「表現力」「思考力・判断力」をそれぞれ評価し選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜活動実績重視型＞

書類審査で高等学校等時代での部活動、校外活動、芸術及びスポーツなどのいずれかの分野ですぐれた実績を有する者を評価します。小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「表現力」「思考力・判断力」を評価し、面接では前述の実績をもとにしたリーダー的存在となりうる資質と本学部の教育分野への強い関心と積極性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜英語能力重視型＞

書類審査で英語のすぐれた能力、異文化理解能力を有する者を評価します。小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「表現力」「思考力・判断力」を評価し、英語及び日本語での面接では英語のスピーチや会話によって英語の運用能力に関わる「関心・意欲・態度」「表現力」を評価し、以上を総合して選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す：5(6)教科型）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テスト5(6)教科型（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）の採点方式で、広範囲にわたり習熟した「知識・教養」「思考力・判断力」を評価します。書類審査では高等学校等時代での教科、部活動、校外活動で培った「関心・意欲・態度」「協働性」を、面接では入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面から、積極性、思考態度、専攻希望領域への意欲、より広い分野への関心の有無及び将来性等の項目について評価し、以上を総合して選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す：3教科型）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テスト3教科型（国語、外国語、地歴・公民、数学）の採点方式で、いずれかの科目での高く習熟した「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、書類審査では高等学校等時代での教科、部活動、校外活動で培った「関心・意欲・態度」「協働性」を評価します。面接では、入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面から、積極性、思考態度、専攻希望領域への意欲、より広い分野への関心の有無及び将来性等の項目について評価し、以上を総合して選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分*	選 抜 内 容
小論文	一般 (後期) 推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語)	【一般 (後期)】 社会的な課題に関する基礎的な能力 (関心, 理解力, 表現力) を判定する。 【推薦Ⅰ】 本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力 (論述能力, 表現力等) を判定する。
集団面接	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅱ (5) 推薦Ⅱ (3)	複数の面接担当者による集団面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行い, 提出書類などの確認を行う場合がある。
個人面接 (スピーチ等含む)	推薦Ⅰ (英語)	「関心・意欲・態度」「表現力」を, 英語によるスピーチの内容, パフォーマンス, 質疑応答での英語力, 会話・コミュニケーション力に即して判定する。
志望理由書	推薦Ⅱ (5) 推薦Ⅱ (3)	本学部に対する志望動機, 本学部の教育分野に対する強い関心, 専攻したい領域に対する強い意欲について, 高等学校の生活等の状況を踏まえて, 評価する。
指定調査書	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語)	活動実績重視型では, 志望理由および高等学校等での教科外活動状況 (部活動・生徒会活動・校外活動, 大会・競技会・展覧会等での成績等および資格・免許等) を評価する。英語能力重視型では, 志望理由と英語で記入した課題作文を評価する。
調査書	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語) 推薦Ⅱ (5) 推薦Ⅱ (3)	【一般 (前期) (後期)】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語) 推薦Ⅱ (5) 推薦Ⅱ (3)	学習や活動等の状況も踏まえ, 総合して判定する。

* 該当選抜区分内の「(活動)」は「活動実績重視型」, 「(英語)」は「英語能力重視型」, 「(5)」は「5(6)教科型」, 「(3)」は「3教科型」を示す。

●入学者選抜方法における重点評価項目 [入学者選抜方法と求める人物像との関係性]

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	協 働 性
共通テスト	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅱ (5) 推薦Ⅱ (3)			○	○	
個別学力検査 < 教 科 >	一般 (前期)		○	○	○	
小論文	一般 (後期) 推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語)	○	○		○	
集団面接	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅱ (5) 推薦Ⅱ (3)	○	○			
個人面接 (スピーチ等含む)	推薦Ⅰ (英語)	○	○			
志望理由書	推薦Ⅱ (5) 推薦Ⅱ (3)	○				○
指定調査書	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語)	○		○		○
調査書	一般 (前期) 一般 (後期)			(総合判定の参考)		
	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語) 推薦Ⅱ (5) 推薦Ⅱ (3)	○				○

医 学 部

高い責任感，倫理観，ならびに生涯学び続ける意志をもち，国際性と研究能力を兼ね備えながら，基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を实践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■医 学 科

医学科では，基本的な臨床能力及び基礎的な医学研究能力を備え，生涯にわたり医療，教育，保健・福祉活動を通じて社会に貢献し，医学の発展に寄与することができる人材を養成することをめざしています。そのため，医学科では，次のような人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

医学と生命科学に強い関心があり，自らを振り返りながら生涯学び続ける意欲があり，謙虚な態度で病める人に寄り添い，医学や医療の課題に真摯かつ熱心に対応できる人

知識・教養

本学科の専門分野を学ぶために，高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる知識や教養をもつ人

思考力・判断力

これまでに獲得した知識や教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

表 現 力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

主 体 性

自分の意志と判断で社会や地域に対して責任をもって行動できる人

協 働 性

問題解決のために，国籍や日本における各地域，世代，考え方にとらわれることなく，相手の立場や多様性を尊重しながら互いに協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学－基礎的知識・技法と数学的思考法

理 科－物理・化学・生物の基礎的な知識と科学的な自然観・探究心。なお，合格者は，大学入学後に備えて，大学受験における未選択科目の基礎的な知識を再確認しておくこと。

国語・英語－地域社会や国際的分野において医療人として活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力，読解力，思考力

地歴・公民－将来，医療人として活躍するために必要な常識的な知識や素養

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し，個別試験では「関心・意欲・態度」「表現力」をあわせて評価します。学力とともに，生涯にわたり社会に貢献し，医学の発展に寄与する医療人へ成長できる人を総合的に選抜します。

総合型選抜（大学入学共通テストを課す）＜四国研究医型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験ではこれらに加え，「関心・意欲・態度」「表現力」「主体性」「協働性」を評価します。四国研究医型は，四国地区の環境や生活に関心をもちつつ，地域に貢献し，国際性と研究能力を兼ね備えた医師をめざす者を積極的に受入れることとしています。本学科における入学者の多様性は極めて重要です。本学科の資源を最大限に活用し，他の選抜区分で入学する学生の模範となる人物を求めます。よって，医療を通じて四国地区，そして世界に貢献する複合的な視点をもって活躍するリーダー性，そして医学科で学ぶために必要不可欠な資質を深く評価することを目的としています。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜適性と学力重視型（一般枠・地域枠）＞

大学入学共通テストでは「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し，個別試験では2段階にわたって「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し，「思考力・判断力」「主体性」「協働性」をあわせて評価します。学力とともに，高等学校等段階における多様な能力，関心等を重視し，それらを表現できる人を総合的に選抜します（一般枠，地域枠共通）。地域枠は，「主体性」の評価を綿密に行います。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
総合討論	総合型	総合討論(集団討論に加え、小論文形式の出題やレポート作成を組み合わせた選抜)は下記の手順で実施する。 ①(小論文形式)日本語で書かれた文章や図表等により、記述・論述式の出題を行う。 ②(集団討論)①の解答終了後に出題内容の中の題材による集団討論を行う。 ③(まとめレポート)②の終了時に討論のまとめに関する簡単なレポート作成を行う。
個人面接	総合型 推薦Ⅱ(地域枠)	複数の面接担当者による個人面接を行う。 【総合型】 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。 【推薦Ⅱ(地域枠)】 地域医療に対して責任を持って行動できる主体性等について評価する。
集団討論	推薦Ⅱ	複数の評価担当者による集団討論を行う。
集団面接	一般(前期) 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による集団面接を行う。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
活動報告書	総合型	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動(部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動)」を評価し、「資格・検定等」の成績を参考にする。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般(前期) 総合型 推薦Ⅱ	【一般(前期)】面接の参考資料とする。 【総合型・推薦Ⅱ】アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
志望理由書	総合型 推薦Ⅱ	医学部医学科を志望する理由・動機、入学後に学びたいこと及び将来への抱負を400字程度で具体的に記述して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
推薦状	推薦Ⅱ	志願者のスポーツ、文化活動、ボランティア活動又は国際交流等の課外活動の指導者など、直接志願者をよく知っている成人が、推薦理由、課外活動、活動成果、人物(協調性、指導性、忍耐力、責任感など)、その他について記載して提出する。推薦状の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	知識・教養	思考力・判断力	表現力	主体性	協働性
共通テスト	一般(前期) 総合型 推薦Ⅱ		○	○			
個別学力検査 <教科>	一般(前期)		○	○			
総合討論	総合型			○	○		○
個人面接	総合型 推薦Ⅱ(地域枠)	○			○	○	
集団討論	推薦Ⅱ			○	○	○	○
集団面接	一般(前期) 推薦Ⅱ	○			○		
活動報告書	総合型	○				○	○
調査書	一般(前期) 総合型 推薦Ⅱ						
志望理由書	総合型 推薦Ⅱ						
推薦状	推薦Ⅱ						

医 学 部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を实践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■医科栄養学科

『食律生命』の理念のもとに、医学と連携した医科栄養学を通して、高度化する医療と人々の食生活の改善・健康の維持増進に資することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

栄養学・医学に強い関心があり、医科栄養学を生涯にわたり学ぶ目標をもつ人

知識・教養

本学科の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる知識や教養をもつ人

思考力・判断力

幅広い視野と柔軟な感性を有し、今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

表 現 力

自分が伝えたいことを相手に表現できる人

探 究 力

自分が関心をもったことを深く掘り下げ、その中から新たな課題を発見できる人

協 働 性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、相手の立場や多様性を尊重しながら互いに協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英 語－医学・栄養学の専門的な論文を将来読み、理解できるための読解力と表現力、コミュニケーション能力

数 学－数学の基本的な概念や原理・法則の理解、また計算力と論理的な思考法

理 科－自然科学を理解する基礎学力と科学的な自然観・探究心

国 語－様々な文献の読解力と、自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文章力

地歴・公民－将来、良識ある社会人として必要な基本的知識と素養

そ の 他－食生活や医療に対する関心をもち、理論的に科学を思考する能力と姿勢

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験では「表現力」をあわせて評価します。国内のみならず国際的な視野をもつ人物を求めるため、英語能力に重点を置き、総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜主体性重視型＞

個別試験で「思考力・判断力」「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「協働性」「探究力」「知識・教養」をあわせて総合的に評価します。学校推薦型選抜Ⅰでは、医科栄養学研究に対して、高い主体性をもって行動できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性と学力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階にわたって「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「協働性」「探究力」「思考力・判断力」をあわせて評価します。学力とともに、高等学校等段階における多様な能力、関心等を重視し、それらを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
基礎学力テスト	推薦Ⅰ	「英語」「数学（数Ⅲを除く）」の基礎学力を確認するテスト（記述式）を行い、高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定する。
集団討論	推薦Ⅰ	複数の評価担当者による集団討論を行う。
個人面接	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。 (推薦Ⅰ) 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、基礎学力テスト及び書類審査、集団討論の成績にかかわらず不合格となることがある。 (推薦Ⅱ) 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	医学部医科栄養学科に志望した動機、理由、入学後の希望等について、詳細に記入して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書	一般（前期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	【一般（前期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	知識・教養	思考力・判断力	表現力	探究力	協働性
共通テスト	一般（前期） 推薦Ⅱ		○	○			
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）		○	○	○		
基礎学力テスト	推薦Ⅰ		○	○			
集団討論	推薦Ⅰ			○	○		○
個人面接	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○		○	○	○	
調査書	一般（前期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ			（総合判定の参考）			
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○					○
				（面接の参考）			

医学部

高い責任感，倫理観，ならびに生涯学び続ける意志をもち，国際性と研究能力を兼ね備えながら，基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■保健学科

保健・医療・福祉の分野において，人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち，高度の専門知識・技術を基に，チーム医療，地域医療及び国際的な医療支援に貢献できる人を求めています。

◆看護学専攻

国際化，高度化する医療の発展を支える看護学の知識・技術を修得するために必要な基礎学力を備えるとともに，健康の維持・増進，生活の質を高めるにふさわしい潜在的資質を有する人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

看護への志向性をもち，人間，生命，健康，医療，環境に強い関心とそれらを学ぶ意欲があり，自己の将来像について明確な目標をもっている人

協働性

お互いの立場や考えを尊重して良好な人間関係を築くことができる人

理解力・表現力

他者の思いや状況を理解し，自分の考えを適切に表現し伝えることができる人

知識・教養

保健・医療・福祉など専門分野を学ぶために，高等学校等で修得すべき*文科系・理科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

思考力・判断力

高等学校で身につけた知識・教養をもとに，論理的な思考によって物事を判断し，課題を解決しようとする人

幅広い視野

自分たちが住む地域の保健医療や日常生活に関心を向け，国際的な視野をもちながら多角的に物事をとらえることのできる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語—文章を正しく理解する能力と自分の考えを適切に表現するための作文能力

地歴・公民—基礎学力を有し，社会と人の生活を関連づけて考える姿勢と能力

数学—基本的な知識と計算力及び論理的に思考する能力

理科—自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力

外国語—基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し，個別試験では，これらに加えて「関心・意欲・態度」「理解力・表現力」も評価します。看護への志向性等を踏まえ，より深い知識とともに，思考をめぐらせて表現できる人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し，個別試験では，これらに加えて「関心・意欲・態度」「協働性」「理解力・表現力」「幅広い視野」も評価します。知識のみならず，学び意欲や自分で課題を発見し，主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し，個別試験では，これらに加えて「関心・意欲・態度」「協働性」「理解力・表現力」「幅広い視野」を評価します。高等学校等段階における看護に対する関心や意欲などを重視し，協働性をもった人を総合的に選抜します。

(注) 本専攻では，各選抜で実施する個別学力検査等におけるいずれかの得点が一定水準以下の場合は，合計点のいかにかわらず不合格とします。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
小論文	一般（後期）	保健・医療に関する文章や図表等をもとに論述式の出題を行う。
集団討論	一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の評価担当者による集団討論を行う。試験室で提示されたテーマをもとに討論を行う。
集団面接	一般（前期）	複数の面接担当者による集団面接を行う。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行う。提出書類などの内容を確認する場合がある。
志望理由書	推薦Ⅱ	当大学・学部への志望理由について、今までの学生生活等の状況を踏まえて、300～400字で簡潔に作成して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 面接の参考資料とする。 【推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像との関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	協働性	理解力・表現力	知識・教養	思考力・判断力	幅広い視野
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ				○	○	
個別学力検査 ＜ 教 科 ＞	一般（前期）				○	○	
小論文	一般（後期）			○		○	○
集団討論	一般（後期） 推薦Ⅱ	○	○	○			○
集団面接	一般（前期）	○		○			
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	○		○			
調査書	一般（前期） 一般（後期） ----- 推薦Ⅱ				(面接の参考)		○
志望理由書	推薦Ⅱ				(面接の参考)		

医学部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■保健学科

保健・医療・福祉の分野において、人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち、高度の専門知識・技術を基に、チーム医療、地域医療及び国際的な医療支援に貢献できる人を求めています。

◆放射線技術科学専攻

先進的な放射線科学を修得するために必要な理数系の基礎学力に優れ、医学に対する幅広い知識の修得を積極的に行い、医療人としての豊かな人間性とチームワーク精神を自ら高め、診療放射線技師資格取得をめざす明確な目的意識をもった、医療の発展に寄与できる資質を有する人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

放射線科学、生命、健康、医療に対する強い関心とそれらを学ぶ意欲があり、自己の能力を高めるための努力を惜しまない人

思考力・判断力・表現力

論理的な思考によって物事を理解し、適切な判断ができ、相手の視点に立って表現できる人

応用力

将来の技術革新に対応できる人

協働性

お互いの立場や考えを尊重して良好な人間関係を築くことができる人

知識・教養

本専攻の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

幅広い視野

国際的な視点から地域社会の視点に至るまで、幅広い視野で課題の解決に取り組める人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解、計算力及び論理的に思考する能力

理 科—「物理基礎」、「物理」における内容の理解、自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力
外国語、国語—基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力

地 歴・公民—将来、地域や国際社会で医療人として、また、良識をもった人間として活躍するために必要な知識や素養

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」、「知識・教養」を評価し、個別試験ではこれらに加えて「関心・意欲・態度」「表現力」「応用力」「協働性」「幅広い視野」も評価します。自然科学を理解する基礎学力に優れ、豊かな人間性とともに論理的に判断・行動する資質をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」、「知識・教養」を評価し、個別試験では、「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「応用力」「協働性」「幅広い視野」を総合的に評価します。知識のみならず、思考を巡らせて表現できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性重視型＞

大学入学共通テストでより深い「思考力・判断力」、「知識・教養」を評価し、個別試験では、「関心・意欲・態度」「協働性」「幅広い視野」「思考力・判断力・表現力」を総合的に評価します。高等学校等段階における多様な能力、関心などを重視し、それを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
小論文	一般（後期）	保健・医療に関する文章や図表等をもとに論述式の出題を行う。
集団面接	一般（前期）	複数の面接担当者による集団面接を行う。なお、本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行う。提出書類などの内容を確認する場合がある。
志望理由書	推薦Ⅱ	当大学・学部への志望理由について、今までの学生生活等の状況を踏まえて、400字程度で簡潔に作成して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 面接の参考資料とする。 【推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況を踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像との関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	思考力・判断力	応用力	協働性	知識・教養	幅広い視野
共通テスト	一般（前期）						
	一般（後期）		○			○	
	推薦Ⅱ						
個別学力検査 < 教 科 >	一般（前期）		○	○		○	
小論文	一般（後期）	○	○	○			○
集団面接	一般（前期）	○	○		○		○
個人面接	一般（後期）	○	○		○		○
	推薦Ⅱ						
調査書	一般（前期）				（面接の参考）		
	一般（後期）				（面接の参考）		
	推薦Ⅱ	○			○		○
志望理由書	推薦Ⅱ				（面接の参考）		

医学部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■保健学科

保健・医療・福祉の分野において、人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち、高度の専門知識・技術を基に、チーム医療、地域医療及び国際的な医療支援に貢献できる人を求めています。

◆検査技術科学専攻

医学ならびに医療に対する関心が高く、国際的な視野と豊かな人間性をもち、医療人として臨床検査技術を身につけ、応用できる能力を育成するために必要な学力を有する人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

生命科学や医学、医療に強い関心があり、自分で明確な目標をもって意欲的に学習に取り組める人

探究力

好奇心旺盛で、自分の興味があることについて徹底的に探究しようとする人

表現力

集団の中で自分の意見をはっきりと伝えることができる人

知識・教養

高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

思考力・判断力

自分のもっている知識や教養をもとに考慮して、客観的に適切な判断ができる人

協働性

問題解決のために対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科—「化学」、 「生物」 及び「物理」 の幅広い知識と科学的な探究心

数 学—「数学Ⅰ」、 「数学Ⅱ」、 「数学Ⅲ」、 「数学A」、 「数学B」 における内容の理解、 基本的な概念や原理・法則を理解する能力と数学的な思考力

外国語、 国語—地域社会や国際的分野において活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力・読解力

地歴・公民—将来、 良識ある社会人として地域で活躍するために必要な基本的な知識と素養

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価します。より深い知識とともに、思考を巡らせて表現できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、「探究力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協働性」を評価します。学ぶ意欲や自分で課題を発見し、自主的に判断・行動できる確かな資質をもつ人を選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
集団面接	推薦Ⅱ	複数の面接担当で集団面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行う。提出書類などの内容を確認する場合がある。
志望理由書	推薦Ⅱ	当専攻への志望理由について、これまで学んできた環境や関心事などを考慮して、400字以内で簡潔に作成して、提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書	一般（前期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	探究力	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
共通テスト	一般（前期） 推薦Ⅱ				○	○	
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）				○	○	
集団面接	推薦Ⅱ	○	○	○			○
調査書	一般（前期）	（総合判定の参考）					
	推薦Ⅱ	○	○				○
志望理由書	推薦Ⅱ	（面接の参考）					

歯学部

豊かな人間性を基盤として、医療・保健・福祉を通して健康長寿の推進への情熱と、教育・研究を通して人類の知を
発展させる意欲にあふれた人材に成長できる人物を求めています。

■歯学科

生命科学に興味と情熱をもち、人間的な優しさをそなえた歯科医師・歯学研究者をめざす、次のような人物を求
めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

- ・患者の立場を理解できる豊かな人間性をもつ人
- ・歯科医療の発展への情熱をもち、生涯にわたって貢献しようと考えている人
- ・歯科医療で国際的な活動をしたいと思っている人
- ・歯科医学に関係する研究に関心をもち、新しい発見や治療法の開発に貢献したいと思っている人

表現力

自分の意見や考えを相手に伝えることができる人

知識・教養

本学科で歯科医学を学び、生涯にわたって学びを継続するために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系に
わたる基礎的な知識と教養をもつ人

思考力・判断力

広い視野と論理的思考をもって行動できる人

協働性

オープンマインドな姿勢で他者と協力して課題に取り組める人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語、国語－新聞や書籍（英文も含む）等を積極的に熟読し、読解力や論理的思考力を身につける。

理 科－理科は化学、物理および生物の知識がすべて必要となり、大学受験で選択した以外の理科の科目に
ついては修得が必要です。合格者には、入試で選択しなかった科目を学習してもらうため、入学ま
でに取り組むべき課題を提供する予定です。

数 学－高等学校等で履修した数学を再確認し、数学的思考ができるようにする。

地歴・公民－社会全般（高校で履修しなかった教科も含む）にわたって興味をもち、世界的視点から日本の文化、
思想、制度、歴史及び地理について考察できるようにしておく。

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では「思考力・判断力」「知識・
教養」「関心・意欲・態度」「協働性」「表現力」を評価します。知識のみならず、学ぶ意欲や自分で課題を発見
し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に評価し選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では「思考力・判断力」「協
働性」を重点的に評価し、「関心・意欲・態度」「表現力」を合わせて評価します。優れた思考力に基づいてみ
ずから課題を発見し、協働して解決できる人を総合的に評価し選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では2段階に渡って「関
心・意欲・態度」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を重点的に評価します。高等学校等段階における多様
な能力、歯科医学に対する高い関心・適応性、意欲等を重視し、それを深く表現できると同時に、協働性に富
む人を総合的に評価し選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
小論文	一般（後期）	日本語および英語で書かれた文章や図表等をもとに、現代の社会における諸問題について考察し、みずからの考えを表現する出題を行う。
個人面接	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
集団討論	推薦Ⅱ	提示されるテーマ（医療や健康に関する現代の社会の諸問題）に関して討論を行い、結論を導く。その過程を複数の担当者により評価する。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団討論では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅱ】 面接の参考とする。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。
志望理由書	推薦Ⅱ	本学科への志望理由について、今までの学生生活等の状況を踏まえて、800字程度で作成して提出する。参考資料として面接時の評価にも用いる。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	協 働 性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ			○	○	
個別学力検査 ＜ 教 科 ＞	一般（前期）			○	○	
小論文	一般（後期）	○	○		○	
個人面接	一般（前期）	○	○			○
	一般（後期）					
	推薦Ⅱ	○	○			
集団討論	推薦Ⅱ		○		○	○
調査書	一般（前期）	(総合判定の参考)				
	一般（後期）					
	推薦Ⅱ	(面接の参考)				
志望理由書	推薦Ⅱ	(面接の参考)				

歯 学 部

豊かな人間性を基盤として、医療・保健・福祉を通して健康長寿の推進への情熱と、教育・研究を通して人類の知を
発展させる意欲にあふれた人材に成長できる人物を求めています。

■口腔保健学科

人間的な優しさを持ち、口腔保健及び福祉の専門知識と技能を身につけ健康長寿の推進に貢献できる、次のよう
な人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

- ・学習意欲・好奇心が旺盛で、チャレンジ精神のある人
- ・歯や口の健康に興味を持ち、歯科の病気の予防に貢献したいと考える人
- ・高齢者や障害者などに関する現代社会・地域社会の諸問題を見据え、その解決に貢献したいと考える人

表 現 力

自分の考えや意見を論理的に説明できる人

知識・教養

本学科の専門分野を学び、将来にわたって学びを継続するために、高等学校等で修得すべき*全領域の科目にわ
たる知識・教養をバランスよくもつ人

思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

協 働 性

チーム医療における問題解決のために、職種や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英 語－基礎的なコミュニケーション能力や読解力を身につけておく。

理 科－理科の学習を通じて自然科学に深い関心を持ち、その基礎的な考え方を身につけておく。

国 語－国語の学習を通じて、現代人としての常識的な知識とともに、日本語による論理的な記述力やコ
ミュニケーション能力を身につけておく。

数 学－単に公式を暗記し問題に当てはめるだけではなく、論理的な思考を展開するために必要な理解力と
応用力を身につけておく。

地歴・公民－地歴・公民に広く関心を持ち、多様な価値観や世界観、考え方があることを理解しておく。

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では「思考力・判断力」「知識・
教養」「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。知識のみならず、学ぶ意欲や、自分で課題を発
見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価します。個別試験では個人面接を行
い、口腔保健に対する「関心」や「意欲」、さらには「協働性」を評価し、それを表現できる人を総合的に選抜
します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階に渡って
「関心・意欲・態度」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を重点的に評価します。高等学校等段階における
多様な能力、口腔保健に対する「関心」や「意欲」を重視し、それを深く表現できると同時に協働性に富む人
を総合的に評価し選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
個人面接	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
集団討論	推薦Ⅱ	複数の評価担当者による集団討論を行う。提示されたテーマをもとに討論を行う。
活動報告書	推薦Ⅱ	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）」を評価し、「資格・検定等」の成績を参考にする。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅱ】 面接の参考とする。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	協 働 性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ			○	○	
個別学力検査 ＜ 教 科 ＞	一般（前期）			○	○	
個人面接	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	○	○			○
集団討論	推薦Ⅱ		○		○	○
活動報告書	推薦Ⅱ	○				
調査書	一般（前期） 一般（後期） ----- 推薦Ⅱ			(総合判定の参考)		
				(面接の参考)		

薬学部

■薬学科

薬学を基盤とし、薬剤師・研究者・教育者として、薬物療法・医薬品創製およびそれに資する科学全体の向上に、情熱・倫理観・使命感をもって貢献できる人材を求めています。薬学部の教育方針は、多様な薬学分野を基盤とした幅広い知識と技能を身につけ、薬学を含む種々の職能領域と相互連携しうる能力をもち、自ら活躍できる場を積極的に開拓できる可能性をもった人材（インタラクティブ YAKUGAKUJIN）を育成することです。したがって、既成概念にとらわれない柔軟な思考能力をもち、向学心に満ち、未踏分野の開拓精神に溢れた人材を募集します。

●求める人物像

関心・意欲・態度

薬学にかかわる広範な領域に強い関心とそれらの学びに対する意欲があり、自ら未踏分野を開拓しようとする姿勢・態度を有する人

探究力

自分が関心をもったことを深く掘り下げて探究し、その中から新たな問題・課題を発見できる人

表現力

自分が伝えたいことを適切かつ簡潔に、相手の立場に配慮して表現できる人

知識・教養

薬学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*基礎的かつ広範な知識や教養を有する人

思考力・判断力

修得した知識・教養・技能を基盤に、思考を深化・展開させ、科学的エビデンスに基づいて未知の課題に対して適切な解を判断できる素養を有する人

協働性

多職種の人と協働して活躍できる素養を有する人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科—化学および基礎的な物理・生物の知識

数 学—理系数学についての基本的な知識・技能と論理的思考法

英語、国語—基礎的な読解力・表現力・発信力・コミュニケーション能力

そ の 他—将来、薬剤師・研究者・教育者として活躍するためには、上記以外の科目もおろそかにせず、また部活やボランティア等、様々な活動に積極的に取り組むことで、幅広い視野と高い倫理観、豊かな人間性を育ててもらいたい。

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、これらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。幅広い知識を基盤に柔軟な科学的思考のできる人を求めるとともに、豊かな人間性と倫理観のある人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、これらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。幅広い知識を持ち、化学の学力が顕著な人を求めます。

本学部の教育方針への理解・学ぶ意欲等を深く評価するため集団面接と志望理由書を課し総合的に選抜します。学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜創薬研究者育成型（長井枠）＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、「関心・意欲・態度」「探究力」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を評価します。徳島大学薬学部は、日本薬学の開祖である長井長義博士の進言により、「薬の創製（創薬）」を目的として設立されました。したがって「薬の創製（創薬）」に伝統をもち、創薬研究者を育成する環境を有することに強みがあります。創薬研究者育成型（長井枠）は、創薬に強い関心を示すとともに、高等学校等時に意欲的に取り組んだ主体的な活動を活かし世界に通用する創薬研究者をめざす人を求めます。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜先導的地域医療薬剤師育成型（地方貢献枠）＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、「関心・意欲・態度」「探究力」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を評価します。徳島大学薬学部は、世界に通用する創薬研究者・高度医療薬剤師の育成に加えて、地域医療を担う薬剤師の育成機能を有しています。先導的地域医療薬剤師育成型（地方貢献枠）は、薬剤師の不足する地域の医療を担う薬剤師のリーダーとして社会に貢献する人を求め、世界と地方を繋ぐ多様な入学者の受け入れを行います。

※本選抜はいわゆる「地域枠」ではありません。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
論述レポート	推薦Ⅱ (長)	薬学に関連する講義を聞き、論述形式のレポートを作成する (全て日本語)。
小論文	推薦Ⅱ (地)	日本語で書かれた文章や図表等により、記述・論述式の出題を行う。
集団面接	一般 (前期) 一般 (後期)	複数の面接担当者による集団面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
個人面接	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	アドミッション・ポリシーに基づいて複数の面接担当者により個人面接を行う。提出書類や論述レポートもしくは小論文の内容の確認を行う場合がある。
志望理由書	一般 (後期)	当学科への志望理由について、これまでの学生生活等の状況を踏まえて、800字から1,000字で簡潔に記述して提出する。アドミッション・ポリシーに基づいて評価を行い、合否を判定する。
学びの設計書	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	【長井枠】 大学入学から大学院を経て創薬研究者までを繋ぐ設計書を作成する。自分がこれから学びたい分野とその理由を含めて、800字から1,000字で簡潔に記述して提出する。面接時に参考資料として用いる。 【地方貢献枠】 大学入学から大学院を経て地方もしくは薬剤師の不足する地域に貢献する薬剤師までを繋ぐ設計書を作成する。自分がこれから学びたい分野とその理由を含めて、800字から1,000字で簡潔に記述して提出する。面接時に参考資料として用いる。
活動報告書	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動 (部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動)」「資格・検定等 (参考)」を評価する。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	【一般 (前期) (後期)】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅱ (長井枠) (地方貢献枠)】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目 [入学者選抜方法と求める人物像との関係性]

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	探究力	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
共通テスト	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)				○	○	
個別学力検査 <教科>	一般 (前期) 一般 (後期)			○	○	○	
論述レポート	推薦Ⅱ (長)		○	○	○	○	
小論文	推薦Ⅱ (地)			○		○	
集団面接	一般 (前期) 一般 (後期)	○		○			○
個人面接	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	○	○	○			○
志望理由書	一般 (後期)	○					
学びの設計書	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)		○	○			
活動報告書	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	○	○				
調査書	一般 (前期) 一般 (後期) ----- 推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)					(総合判定の参考)	
		○					○

* 該当選抜区分内の「(長)」は「創薬研究者育成型 (長井枠)」, 「(地)」は「先導的地域医療薬剤師育成型 (地方貢献枠)」を示す。

理工学部

■理工学科

自ら課題を探究し、未知の問題に対して俯瞰的視野から総合的な判断を下すことができる能力を兼ね備え、科学技術のイノベーションに柔軟に対応しながらグローバルに活躍できる理工系人材を養成します。そのため、理工学部理工学科では、次のような人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

科学技術の両輪となる理学と工学を融合した理工学の各専門分野に強い関心と学びに対する意欲があり、明確な目標を持っている人

表現力

自分が伝えたいことを相手に表現できる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる基礎的な知識や教養をもつ人

思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに、広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人

主体性・創造性・協働性

多様な経験をもとに、主体的に創造性豊かな発想ができる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解と数学的思考力

理 科—「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」（受験者が入学試験で利用する科目）における内容の理解と科学的思考力

国語、英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐむために必要な、地理歴史、倫理、政治・経済、現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）（後期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・教養」と「思考力・判断力」を評価します。一般選抜では、理工学部1学科制のもと、俯瞰的視野を有して学び続ける意欲をもつ入学者を求めるとともに、入学者の主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。入学後の教養教育・専門教育に対応できる幅広い知識と理数系に対する深い思考力をもつ人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）〈理工学経験重視型〉

個別試験で「関心・意欲・態度」と「知識・教養」を重点的に評価し、「表現力」と「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。高い主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。本選抜においては、工業に関する学科を卒業見込とする者を対象とし、各専門分野への強い関心と必要な基礎学力をもつとともに、多様で創造性のある実習経験等が豊富な学生の受入を目的としています。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）〈主体性・創造性重視型〉

大学入学共通テストで「思考力・判断力」と「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階にわたって「関心・意欲・態度」と「主体性・創造性・協働性」を重点的に評価し、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を合わせて総合的に評価します。高い主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。高等学校等段階における多様な経験をもとに柔軟に対応できる力を重視するとともに、各専門分野への強い関心を表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
個人面接 (口頭試問含む)	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミSSION・ポリシーに基づいて面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。また、高校の基礎学力や理解力を確認するため、口頭試問を行う場合がある(口頭試問の詳細は推薦Ⅰ・推薦Ⅱにおける推薦要件及び選抜方法等の該当ページを参照)。なお、推薦Ⅱにおいては第1次選考の結果により、面接を免除する場合がある。
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動(部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動)」を評価する。また、推薦Ⅰにおいては、「意欲的に取り組んだ活動」に工業に関する学科特有の活動実績を評価し、「資格・検定等」の成績を参考にする。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般(前期) 一般(後期) 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	【一般(前期)(後期)】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミSSION・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	志望するコースへの志望理由を300~400字程度で簡潔に作成して提出する。志望理由書は本人の自筆で記入すること。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	主体性・創造性・協働性
共通テスト	一般(前期) 一般(後期) 推薦Ⅱ			○	○	
個別学力検査 <教科>	一般(前期) 一般(後期)			○	○	
個人面接 (口頭試問含む)	推薦Ⅰ	○	○	○		
	推薦Ⅱ	○	○	○	○	
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○				○
調査書	一般(前期) 一般(後期)			(総合判定の参考)		
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○				○
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ			(面接の参考)		

生物資源産業学部

■生物資源産業学科

生物資源産業学部では、バイオテクノロジーを応用した生物資源の生産、医薬、食品としての有効利用に関連する幅広い知識、国際的に通用する専門性、バイオ産業創出に必要な起業マインドをもった人材の育成を目的としています。そのため、生物資源産業学部では、次のような人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

バイオテクノロジー、生命、医療、食料、農業、環境に強い関心と学びに対する意欲があり、自分で明確な目標を定めることができる人

探究力

興味や関心を持った科学的事象を深く掘り下げることができる人

表現力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる知識・教養をもつ人

思考力・判断力

幅広い知識と教養、多くの経験をもとに深く思考し、適切に判断できる人

協働性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科－化学および基礎的な物理、生物の知識

数 学－「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」における内容の理解と応用力

英 語－国際的な専門分野を学ぶために必要な読解力と基礎的な運用能力

国 語－様々な文献の読解力と、自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文章力

地歴・公民－地歴・公民における基礎的な内容の理解

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験ではこれらに加えて「表現力」「関心・意欲・態度」を評価します。知識のみならず、学ぶ意欲や自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験ではこれらに加えて「探究力」「表現力」を評価します。より深い知識とともに、思考を巡らせて表現できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜地方創生型＞

個別試験で「関心・意欲・態度」「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」を重点的に評価し、「探究力」「協働性」を合わせて総合的に評価します。地方創生型入試は、各地域の産業界と結びつきの強い専門教育を行っている学科を対象とし、地方創生に意欲をもつ学生の受入を目的としています（地域枠あり）。大学入学共通テストは課さず、個別試験のみで選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

3教科の大学入学共通テストでより深い「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階にわたって「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「探究力」「協働性」を合わせて評価します。高等学校等段階における多様な能力、関心等を重視し、それを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
総合問題	一般（後期）	日本語で書かれた文章や図表等により，下記の力を問う記述・論述式の出題を行う。 ①化学（化基・化）に関する基礎学力と思考・判断力（実験データの解析力等を問う場合あり） ②現代の社会における諸問題（バイオテクノロジー，食料，農業等で抱える問題）や生物資源産業への深い関心と，自らの考えを表現する力 ※②は小論文の要素を含めた出題
小論文	推薦Ⅰ	日本語で書かれた文章や図表等により，「思考力・判断力」「表現力」を問う論述式の出題を行う。
集団面接	一般（前期）	複数の面接担当者による集団面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行う。 ※一般選抜（前期）は，2日間に渡って選抜（1日目・化学基礎・化学，2日目・集団面接）を実施し，集団面接は1日目の受験者数によって，集合時刻を午前と午後に分けて実施する場合がある（1日目終了時に詳細を連絡）。
個人面接	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて個人面接を行い，提出書類等の確認を行う場合がある。なお，推薦Ⅰにおいては，高校の基礎学力（「化学基礎」等）を確認するため，口頭試問を行う。
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動，生徒会活動，プロジェクト活動，ボランティア活動，海外留学などの学校内外で行った活動）」を評価する。また，推薦Ⅰにおいては，「意欲的に取り組んだ活動」に農業，工業，商業，水産に関する学科又は総合学科特有の活動実績を評価し，「資格・検定等」の成績を参考にする。 ※作成方法については，「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
学びの設計書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	大学・社会人までを繋ぐ設計書を作成する。自分がこれから学びたい分野の理由を含めて，300字～400字で簡潔に作成して提出する。学びの設計書は必ず受験者自筆で作成する。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ，総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	探究力	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ				○	○	
個別学力検査 <教科>	一般（前期）			○	○	○	
総合問題	一般（後期）		○	○	○	○	
小論文	推薦Ⅰ			○		○	
集団面接	一般（前期）	○		○			
個人面接	推薦Ⅰ	○			○		
	推薦Ⅱ	○		○			
活動報告書	推薦Ⅰ	○	○				○
	推薦Ⅱ						
学びの設計書	推薦Ⅰ		○	○			
	推薦Ⅱ						
調査書	一般（前期）						
	一般（後期）						
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○					○

帰国生徒選抜

●入学者選抜の基本方針

【総合科学部】

小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「知識・教養」「表現力」「思考力・判断力」ならびに日本語の能力を評価し、また、英語能力試験の成績で英語の能力を評価します。面接では入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

【歯学部歯学科】

基礎学力テストで入学後の学習に必要な「思考力・判断力」「知識・教養」を備えているか評価します。また、小論文と個人面接で「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「思考力・判断力」「協働性」を合わせて評価します。みずからの海外経験に基づいた斬新な発想や思考と、それを深く表現できる力を重視し、協働性に富む人を総合的に評価し選抜します。

【理工学部】

小論文で「関心・意欲」「知識・教養」「思考力・判断力」「表現力」を評価し、面接では左記の外「態度」「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。

社会人選抜

●入学者選抜の基本方針

【総合科学部】

小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「知識・教養」「表現力」「思考力・判断力」を評価します。面接では出願書類及び英語能力試験の成績を参考にしながら入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

【医学部保健学科看護学専攻】

個別試験（学力検査（英語）・小論文）で「基礎学力」「語学力」「理解力・表現力」「思考力・判断力」「幅広い視野」を評価します。これに加えて面接で「関心・意欲・態度」「協働性」「理解力・表現力」を評価します。経験を活かし、健康の維持・増進、生活の質を高めるにふさわしい確かな資質を有する人を総合的に選抜します。

【理工学部】

出願書類で「関心・意欲」と「知識・教養」を評価し、面接では左記の外「態度」「表現力」「主体性・創造性・協働性」を加えて総合的に評価します。主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。

私費外国人留学生選抜

●入学者選抜の基本方針

【総合科学部】

英語能力試験、独立行政法人日本学生支援機構の実施する日本留学試験によって、英語及び日本語のすぐれた能力ならびに「知識・教養」を評価します。小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「知識・教養」「表現力」「思考力・判断力」を評価します。面接では日本語の能力と「表現力」「思考力・判断力」に加えて、入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

【医学部医学科】

個別学力検査で「知識・教養」「思考力・判断力」とあわせて「関心・意欲・態度」「表現力」「主体性」を評価します。日本で学ぶ意欲が高く、医学や生命科学に強い関心を持つ人材を総合的に選抜します。

【医学部保健学科看護学専攻】

日本留学試験で「日本語の語学力」「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、これに加えて TOEFL の成績を利用し「語学力」を評価します。さらに、小論文および面接では「関心・意欲・態度」「理解力・表現力」「幅広い視野」も評価します。学ぶ意欲や自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

【医学部保健学科放射線技術科学専攻】

日本留学試験で「日本語の語学力」「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験でこれらに加えて「関心・意欲・態度」「応用力」「協働性」「幅広い視野」を評価します。自然科学を理解する基礎学力に優れ、論理的に判断・行動する資質をもつ人を総合的に選抜します。

【医学部保健学科検査技術科学専攻】

日本留学試験で「日本語の語学力」,「思考力・判断力」,「知識・教養」を評価します。これに加えて個別試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個人面接で「探求力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協働性」を評価します。学ぶ意欲や自分で課題を発見し、自主的に判断・行動できる確かな資質をもつ人を選抜します。

【歯学部歯学科】

日本留学試験, TOEFL および個別学力検査で入学後の学習に必要な「思考力・判断力」「知識・教養」を備えているかを評価します。また、面接で「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「協働性」を合わせて評価します。日本文化に強い関心を持つと同時にグローバルな視点からの発想力を備え、それを日本人学生と共有して課題を発見し、協働して解決できる人を総合的に評価し選抜します。

【薬学部】

日本留学試験等の成績で「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、これらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。

【理工学部】

小論文で「関心・意欲」「知識・教養」「思考力・判断力」「表現力」を評価し、面接では左記の外「態度」「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。

【生物資源産業学部】

TOEFL 及び日本留学試験によって、英語及び日本語の能力ならびに「知識・教養」を考査します。小論文では「知識・教養」「表現力」「思考力・判断力」を、面接では日本語の能力と「表現力」「思考力・判断力」「関心・意欲・態度」を総合的に評価し選抜します。

注1) 各学部・学科(専攻)の「求める人物像」はP 2~23を確認してください。なお、「知識・教養」で示す「高等学校等で修得すべき具体的な内容」については参考としてください。

共 通 事 項

1 入学者選抜の概要

本学では、令和4年度入学者選抜として一般選抜を実施するほか、特別入試及び私費外国人留学生選抜を行います。特別入試には、総合型選抜、学校推薦型選抜のほか帰国生徒及び社会人を対象とした選抜があります。学校推薦型選抜では、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜Ⅰ（推薦Ⅰ）及び大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜Ⅱ（推薦Ⅱ）を実施します。

2 募 集 人 員

(単位：人)

学部・学科		入学定員	募 集 人 員								
			一 般 選 抜		特 別 入 試					私費外国人留学生選抜	
			前 日 期 程	後 日 期 程	総合型 選 抜	学校推薦型選抜		帰国生徒	社 会 人		
		推薦Ⅰ	推薦Ⅱ								
総合科学部	社会総合科学科	170	85	20	/	20	45	若干	若干	若干	
	計	170	85	20	/	20	45	若干	若干	若干	
医学部	医 学 科※	100	55	/	8	/	37	/	/	若干	
	医科栄養学科	50	25	/	/	12	13	/	/	/	
	保健 学 科	看護学専攻	70	40	10	/	/	20	若干	若干	
		放射線技術専攻	37	21	8	/	/	8	/	若干	
		検査技術専攻	17	12	/	/	/	5	/	若干	
計	274	153	18	8	12	83	若干	若干	若干		
歯学部	歯 学 科	40	24	6	/	/	10	若干	/	若干	
	口腔保健学科	15	6	4	/	/	5	/	/	/	
	計	55	30	10	/	/	15	若干	/	若干	
薬学部	薬 学 科	80	50	20	/	/	10	/	/	若干	
	計	80	50	20	/	/	10	/	/	若干	
理工学部	昼 間	理 工 学 科	550	304	93	/	10	143	若干	若干	若干
		計	550	304	93	/	10	143	若干	若干	若干
	夜 間 主	理 工 学 科	45	45	/	若干	/	/	若干	/	/
計	45	45	/	若干	/	/	若干	若干	/		
生物資源 産業学部	生物資源産業学科	100	48	22	/	8	22	/	/	若干	
	計	100	48	22	/	8	22	/	/	若干	
合 計		1,274	715	183	8	50	318				

- (注) 1 総合型選抜及び学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、不足人員を前期日程で補充します。
 2 学校推薦型選抜Ⅰ、帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生選抜の募集人員「若干人」は、募集する学科・専攻の前期日程の募集人員に含まれます。
 3 総合科学部社会総合科学科は、学科全体で選抜を行います。なお、各コースの配属は、本人の希望と成績・レポート・面接等により2年進級時に行います（入学後の詳細については、大学ホームページ等でご確認ください）。
 4 薬学部薬学科は、学科全体で選抜を行います。なお、各コースへの配属は、本人の希望と成績等により3年進級時に行います。（学校推薦型選抜Ⅱについては、出願時にコースを選択します。）入学後の詳細については、大学ホームページ等でご確認ください。
 5 理工学部理工学科は、一般選抜においては志望コース毎に入学者選抜を実施します（詳細は41ページ参照）。学校推薦型選抜においても志望コース毎に入学者選抜を実施します。出願したコースで合格すれば、当該コースに配属します。また、1年次の教育は、入学者が幅広い分野の大学教育に触れながら自らの適性や関心等に基づき、1年次終了前に志望調査を行った上で、2年進級時から各コースに正式に配属して専門的な教育を深めていきます。
 2年進級時には、入学時に配属したコースに進むことが可能ですが、他コースへの変更が可能な場合があります。但し、他コースへの変更については、各コースが課している要件（成績等）や教室設備等の収容人数の関係等により、一定の制限があります。
 6 生物資源産業学部生物資源産業学科は、学科全体で選抜を行います。なお、各コースの配属は、本人の希望と成績等により2年進級時に行います（入学後の詳細については、大学ホームページ等でご確認ください）。
- ※ 医学部医学科の定員は、前期日程を64人、推薦Ⅱを42人となるように現在調整中です。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

3 各選抜の実施方法

(1) 一般選抜

学部・学科名		前期日程		後期日程					備考 (欠員の補 充方法等)				
		募集 人員	個別学力検査等		募集 人員	個別学力検査等							
			個別学 力検査 を課す	面接を 行う		2段階選抜 (①得点 率) (②倍率)	個別学 力検査 を課す	面接を 行う		集 団 討 論 を 行 う	小論文 を 課す	2段階選抜 (①得点 率) (②倍率)	
総合科学部	社会総合科学科	85人	○	-		20人	-	-	-	○			
医学部	医学科※	55人	○	○	①900点満点中 600点以上 ②5倍(注1)								
	医科栄養学科	25人	○	-									
	保健学 科	看護学専攻	40人	○	○		10人	-	○	○	○		
		放射線技術 科学専攻	21人	○	○		8人	-	○	-	○		
		検査技術 科学専攻	12人	○	-								
歯学部	歯学科	24人	○	○	②10倍(注2)	6人	-	○	-	○	②15倍(注2)	追加合格, 場合により 欠員補充 第2次募集	
	口腔保健学科	6人	○	○		4人	-	○	-	-			
薬学部	薬学科	50人	○	○	②5倍(注3)	20人	○	○	-	-	①750点満点中 500点以上 ②10倍(注4)		
理工学部	昼間 理工学科	304人	○	-		93人	○	-	-	-			
	夜間主 理工学科	45人	○	-									
生物資源産業学部	生物資源産業学科	48人	○	○		22人	○	-	-	-			

(注1) 医学部医学科(前期日程)の試験実施に当たっては、大学入学共通テストの成績において、本学科の指定する各科目の合計点が600点(配点合計900点満点)に達していない場合は2段階選抜を実施します。また、600点以上に達していても入学志願者数が募集人員の上記に定める倍率を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。

(注2) 歯学部歯学科の試験実施に当たっては、入学志願者数が募集人員を大幅に上回り、上記に定める倍率を超えた場合は2段階選抜を実施することがあります。

(注3) 薬学部(前期日程)の試験実施に当たっては、入学志願者数が募集人員を大幅に上回り、上記に定める倍率を超えた場合は2段階選抜を実施することがあります。

(注4) 薬学部(後期日程)の試験実施に当たっては、大学入学共通テストの成績において、本学部の指定する各科目の合計点が500点(配点合計750点満点)に達していない場合は2段階選抜を実施します。また、500点に達していても入学志願者数が募集人員の上記に定める倍率を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。

※医学部医学科の定員は、前期日程を64人、推薦Ⅱを42人となるように現在調整中です。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

(2) 特別入試, 私費外国人留学生選抜

学部・学科名		総合型選抜			学校推薦型選抜								帰国生徒	社会人	私費外国人留学生					
					推薦Ⅰ				推薦Ⅱ											
		募集人員	選抜方法等		募集人員	選抜方法等			募集人員	選抜方法等			募集人員							
			面接を行う	総合討論を課す		面接を行う	集団討論を行う	小論文を課す		面接を行う	集団討論を行う	論述ポータル文を課す								
総合科学部	社会総合科学科				20人			45人												
					活動実績重視型 15人	英語能力重視型 5人	○	-	○	5(6)教科型 30人	3教科型 15人	○	-	-	若干人	若干人	若干人			
医学部	医学科※	8人	○	○					37人								若干人			
	医科栄養学科				12人(注1)			○	○	-	13人			○	-	-				
	保健学科	看護学専攻										20人			○	○	-		若干人	若干人
		放射線技術科学専攻										8人			○	-	-			若干人
	検査技術専攻										5人			○	-	-			若干人	
歯学部	歯学科										10人			○	○	-	若干人		若干人	
	口腔保健学科										5人			○	○	-				
薬学部	薬学科										10人			○	-	○			若干人	
					※1	5人					※2	5人								
理工学部	昼間 理工学科				10人			○	-	-	143人			○	-	-	若干人		若干人	
	夜間主 理工学科				若干人			○	-	-								若干人		
生物資源産業学部	生物資源産業学科				8人(注2)						22人			○	-	-			若干人	
					一般枠 4人	地域枠 4人	○	-	○											

(注1) 医学部医科栄養学科学校推薦型選抜Ⅰでは「基礎学力テスト」を課します。
(注2) 生物資源産業学部学校推薦型選抜Ⅰの実施に当たっては、入学志願者数の状況によっては、第1次選考を実施することがあります。
※1 創薬研究者育成型(長井枠)
※2 先導的地域医療薬剤師育成型(地方貢献枠)
※医学部医学科の定員は、前期日程を64人、推薦Ⅱを42人となるように現在調整中です。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

共通事項

4 不正行為

次のことをすると不正行為となります。

不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験は出来なくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。

- ① 入学願書、受験票、写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（出願情報登録時に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）をすること。
- ② カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること。）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
- ④ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑤ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ⑥ 大学が指定する場合を除き、試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具を使用すること。
- ⑦ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子等を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。
- ⑧ その他、試験の公平性を損うおそれのある行為をすること。

5 障がいのある入学志願者との事前相談

受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、次のとおり入試課に申し出てください。

申請後、入試課より回答文書を送付しますので、出願する際は写しを出願書類と併せて提出してください。

(1) 時 期

選 抜 区 分	時 期
一般選抜	令和4年1月17日(月)まで
総合型選抜	令和3年10月15日(金)まで
学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）	令和3年10月25日(月)まで
学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	令和4年1月11日(火)まで
帰国生徒選抜	令和3年10月25日(月)まで
社会人選抜	令和3年10月25日(月)まで
私費外国人留学生選抜	令和3年11月29日(月)まで

(注) 相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

(2) 方 法

詳細は、徳島大学ホームページ (<https://www.tokushima-u.ac.jp>) をご覧ください。「徳島大学入学試験における事前相談内容」を出力し、①～⑧の内容を記載の上、提出してください。

- ① 氏名、生年月日
- ② 選抜区分・志望学部・学科・専攻・コース
- ③ 現住所・電話番号及び保護者の連絡先
- ④ 障がいの種類・程度（後日、健康診断書の提出を依頼する場合があります。）
- ⑤ 受験の際に配慮を希望する事項及び内容
- ⑥ 修学の際に配慮を希望する事項及び内容
- ⑦ 出身学校等で在学中にとられていた配慮及び出身学校等名
- ⑧ 日常生活の状況等

6 入試過去問題の使用

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、下記 URL をご覧ください。

<http://www.nyushikakomon.jp/>

7 大規模自然災害により被災した入学志願者の検定料免除

徳島大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、令和4年度学部入学者選抜において、以下のとおり検定料免除の特例措置を講じます。

(1) 免除対象となる入学者選抜

令和4年度学部入試（一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜・帰国生徒選抜・社会人選抜）

(2) 措置内容

検定料（17,000円 夜間主10,000円）の免除

(3) 免除対象者

- ① 東日本大震災及び令和3年度に災害救助法適用地域において被災された志願者で、次のいずれかに該当する者
 - ア 主たる学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失の被害を受けた場合
 - イ 主たる学資負担者が死亡又は行方不明の場合
- ② 居住地が、福島第一原子力発電所の事故により、警戒区域又は計画的避難区域に指定された者

(3) その他

申請方法、申請書類等、詳しくは、徳島大学ホームページ (<https://www.tokushima-u.ac.jp>) をご覧ください。

8 検定料の返還

納入された検定料は原則返還しません。

ただし、次のいずれかに該当する場合は検定料の全額又はその一部を返還します。

- ① 出願書類が受理されなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- ③ 検定料を振り込んだが、出願書類を提出しなかった場合
- ④ 第一段階目の選抜の結果、不合格となった場合
- ⑤ 出願受付後に本学の出願無資格者であることが判明した場合
- ⑥ 試験当日に、新型インフルエンザ等対策措置法（平成24年法律第31号）第2条第1号に規定する「新型インフルエンザ等」を発症した疑いがあるため、本学が受験を拒否した場合

①～③に該当する場合は全額を、④～⑥に該当する場合はその一部（総合科学部・医学部・歯学部・薬学部・理工学部（昼間）・生物資源産業学部は13,000円、理工学部（夜間主）は7,800円）を返還します。

①該当者については、出願書類を返送する際に併せて通知します。②～⑥該当者は、申請方法・申請書類等、詳しくは、徳島大学ホームページ (<https://www.tokushima-u.ac.jp>) をご覧いただき、令和4年3月31日（木）までに申し出てください。

※検定料返還の振込は、返還請求書到着後約2ヶ月程度かかる場合があります。

9 欠員補充の方法

入学定員に欠員が生じた場合は、次の方法により欠員補充を実施することがあります。

なお、他の国公立大学の入学手続を完了した者は、本学の合格者となりません。

(1) 追加合格

追加合格を実施する場合は、令和4年3月28日(月)以降に「選考結果通知先」に直接通知します。

追加合格の実施の有無については、令和4年3月28日(月)から本学ホームページ〔入試案内〕で情報提供を行います。

(2) 欠員補充第2次募集

欠員補充第2次募集を実施する場合には、令和4年3月28日(月)以降に、本学ホームページ〔入試案内〕で情報提供を行います。

10 入学案内

(1) 高等教育の修学支援新制度（授業料等減免と給付型奨学金）

この国の制度は、授業料、入学料の減免及び給付型奨学金がセットになったもので、世帯収入や資産等の要件を満たしており、学業成績等に係る基準を満たす場合に支援を受けることができます。なお、進学後も支援を受け続けるには、しっかりと授業へ出席し、勉学に励むことが求められます。成績が悪かったり、授業にあまり出席しなかった場合は、支援の打ち切りや返還を求められることがありますので、注意してください。

① 入学料及び授業料の減免

減免額は日本学生支援機構給付型奨学金の支援区分により、第Ⅰ区分が全額免除、第Ⅱ区分が2/3免除、第Ⅲ区分が1/3免除になります。

② 日本学生支援機構給付型奨学金

申請時期は、年2回、前期・後期で行います。給付額は下記のとおりです。

世帯の所得金額に基づく区分	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	29,200円	66,700円
第Ⅱ区分	19,500円	44,500円
第Ⅲ区分	9,800円	22,300円

※令和3年4月現在

(注) 支給額は世帯の所得金額に基づく区分(第Ⅰ～Ⅲ)に応じて、通学形態により決定します。

(注) 自宅外通学の区分で支給を受けるためには条件があります。

(2) 奨学金制度

① 日本学生支援機構奨学金貸与事業

人物・学業ともに優れ、かつ、健康であって、経済的理由により修学が困難な学生を対象に、申請に基づき選考し、奨学生が決定されます。

種別等	貸与月額
第一種 (無利子)	自宅通学者 20,000円, 30,000円, 45,000円 から選択できます。
	自宅外通学者 20,000円, 30,000円, 40,000円, 51,000円 から選択できます。
第二種 (有利子)	20,000円～120,000円(10,000円単位) から選択できます。
入学時特別増額貸与 (有利子)	100,000円, 200,000円, 300,000円, 400,000円, 500,000円 から選択できます。 (第一種又は第二種と同時の申し込みが必要です。)

(注) 第一種と第二種は、併用が可能です。

※令和3年4月現在

(注) 第一種奨学金については、申込時の家計収入が一定額以上の方は各区分の最高月額以外の月額から選択することになります。

② その他の奨学金制度

①②のほかに地方公共団体や民間の事業団体による奨学金制度があり、採用された学生に対して奨学金が貸与又は給付されます。募集内容等の詳細については、教務システムや掲示等でその都度お知らせしています。

(3) 学生寮

① 学生寮の概要

本学には3つの学生寮があります。各寮とも食事は付きませんが、自炊室で調理することができます。

寮名	男子			女子					
	しん 晨	しょう 鐘	りょう 寮	あい 藍	か 香	りょう 寮	ゆう 友	ほう 朋	りょう 寮
所在地	徳島市城南町1丁目12番地の14			徳島市中常三島町2丁目19番地の5					
最寄り駅からの交通手段	JR「徳島駅」から市営バス「眉山登山口」下車、徒歩5分			JR「徳島駅」から市営バス「徳島大学前」下車、徒歩5分					
定員	21人（留学生含む）			16人（留学生含む）			34人（留学生含む）		
募集人員	若干名			若干名			若干名		
居室	1人部屋 15㎡			1人部屋 15㎡			1人部屋 15㎡		
共同施設	浴室、トイレ、自炊室、洗面・洗濯室、談話室など								
経費	寄宿料			5,900円					
	運営費			光熱水料10,000円程度					

(注) 上表に示す寄宿料は、現行の金額です。寄宿料の改定があった場合は、改定後の額が適用されます。

② 入寮願の請求・提出期限

令和4年1月中旬より、本学ホームページ上から入寮願等書類一式をダウンロードできるようになります。提出書類に必要事項を記入し、各証明書類等を添えて郵送で申し込みしてください。

令和4年度新入生の入寮願等受付は、令和4年2月上旬～令和4年2月中旬の予定です。

(注) 必ず期限内に申し込んでください。

③ その他

応募者が多い場合は、自宅からの通学が困難で、かつ、経済的困窮度の高い学生を優先的に選考します。

④ 問い合わせ先

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

徳島大学学務部学生支援課

学生支援係 学生寮担当 【TEL】088-656-7078

11 個人情報の取扱い

(1) 出願書類等に記載された氏名、生年月日、その他の個人情報については、入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務を行う目的をもって、本学が管理します。

また、同情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金、就職支援等）、授業料等に関する業務を行うために利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析、入学者選抜方法の調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）及び学生支援関係業務（授業料免除、奨学金等）のために利用します。

(3) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限り、合否及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知します。

12 入学試験の成績等の開示

受験者本人からの開示請求に基づき、本人の令和4年度入学試験の個人成績等を郵送により開示します。

(1) 開示請求受付期間

令和4年5月2日(月)から令和4年6月30日(木)まで(土・日曜日、祝日を除く。)

郵送、持参とも期間中に請求してください。

(2) 開示対象

一般選抜(前期日程・後期日程)、総合型選抜(第1次選考不合格者を除く)、学校推薦型選抜Ⅰ(生物資源産業学部のみ)、学校推薦型選抜Ⅱ

(3) 開示内容

本学の実施する個別学力検査等及び大学入学共通テストの個人成績

総得点 個別学力検査等の総得点及び科目毎の得点(点数化していない面接については評価記号) 大学入学共通テストの総得点及び科目毎の得点(合否判定に使用した得点)

(4) 請求方法

以下の書類をすべて同封し、当該学部に応し込んでください。

開示内容は、令和4年6月1日(水)以降に、請求者に対し文書で通知します。

① 徳島大学入学試験情報開示請求書

令和4年4月22日(木)以降に本学ホームページ〔入試案内〕

(<https://www.tokushima-u.ac.jp/admission/>) からダウンロードできます。

② 本学又は大学入試センター発行の受験票

③ 返信用封筒

本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、郵便切手(簡易書留料金分)を添付した長形3号(235mm×120mm)

※開示に要する手数料は無料ですが、郵便料金は申請者の負担とします。返信用封筒に定形外封筒を使用する等で郵便料金の不足が生じた場合は、送付できないことがありますので注意してください。

(5) 試験問題及び出題の意図等の公表

① 試験問題及び出題の意図を当該試験終了後に報道機関等に公表します。

解答例は、令和4年6月1日(水)以降に公表します。ただし、小論文については、出題の意図のみ公表します。

② 合格者の最高点、最低点及び平均点等を令和4年5月中に公表します。

13 大学案内等の入手・請求方法

(1) 令和4年度入学者選抜要項の入手について

選抜区分	出願方法	入学者選抜要項	出願様式(入学願書等)
一般選抜	インターネット出願	本学ホームページ上の入学者選抜要項PDF版を閲覧又は印刷	本学ホームページからPDF版を取得してください。
総合型選抜			
学校推薦型選抜Ⅰ			
学校推薦型選抜Ⅱ			
帰国生徒選抜			
社会人選抜			
私費外国人留学生選抜			

※各選抜の募集要項は、PDF版を本学ホームページ上のみで公表します。

(2) 大学案内等の請求

本学のホームページから資料請求をする場

徳島大学のホームページからテレメール又は大学情報センター「モバっちょ」を利用して大学案内等の資料請求ができます。

詳しくは、徳島大学ホームページ (<https://www.tokushima-u.ac.jp>) をご覧ください。

② テレメールでの請求方法

ア インターネット（パソコン・スマホ・ケータイ）又は自動音声応答電話を利用してください。

インターネット (パソコン・スマホ・ケータイ)	https://telemail.jp	スマホ・ケータイで右のバーコードからアクセスした場合、資料請求番号の入力は不要。	
自動音声応答電話	IP 電話 050 - 8601 - 0101 (24時間受付)		
	※有料です。 ※住所氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。		

イ 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資 料 名	資 料 請 求 番 号
大学案内	5 6 6 6 2 2

ウ ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。

※夕方までの受付は当日発送となりますが、夕方以降は翌日発送となります。なお、お届け先が北海道の一部・沖縄・離島などの場合は3日以上かかります。

※随時発送の資料が1週間以上（予約受付の資料は発送開始日から1週間以上）経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。

※料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要です。また、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

※資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し出先

テレメールカスタマーセンター IP 電話 050-8601-0102
 (受付時間 9:30~18:00) まで

※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロムページが管理運営しています。

- ③ 大学情報センター「モバっちょ」による請求方法
携帯電話，スマートフォン，パソコンで以下のサイトにアクセスしてください。
お届け予定時期は，請求してから約2～5日，宅配での発送希望の場合は約1～3日です。



【URL】<https://djc-mb.jp/tokushima-u/>

【料金の支払方法】

- ア 携帯払い，スマートフォン払い，クレジットカード払いができます。(支払手数料は別途必要です)
(注意) 携帯電話・スマートフォンの機種，携帯電話会社との契約状況によって，通話料金と一緒に支払
いできない場合がございます。その場合，コンビニ後払いを選択してください。
- イ コンビニ後払いができます。(支払手数料は別途必要です)
資料到着後，コンビニでお支払いください。

【上記お問い合わせ先】

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター
TEL 050-3540-5005 (平日10:00~18:00)

14 ノートパソコン必携化についてのご案内

本学では，高度情報化社会において情報通信技術の活用能力を有する人材を輩出すること，情報通信技術を活用した先進的講義手法により教育力を強化すること，各種配付物や提出物のペーパーレス化を推進することなどを目的として，2019年度の入学生からパソコンの必携化を実施しています。

「パソコンの必携化」とは，教員から指示があった場合に，必要条件を満たす機器を持参出来る状態にしておくことを言います。

(参考)

徳島大学ホームページでノートパソコン必要条件をご確認いただけます。
令和4年度の詳細については，令和3年12月頃に公表予定です。
<https://www.tokushima-u.ac.jp/admission/tuition/2018120400097.html>

- ・必要条件は毎年見直しを行います。
- ・学部・学科によってはOS等を指定される場合があります。
- ・条件を満たすノートパソコンを既にお持ちの方は，新たに購入される必要はありません。

【問い合わせ先】

徳島大学学務部教育支援課教務・情報係
Tel : 088-656-7095 受付時間 午前9時から午後5時まで(土日・祝日を除く)
Email : kygakujk@tokushima-u.ac.jp

総 合 型 選 抜

1 募集人員

学部名	学科名	総合型選抜の呼称	募集人員
医学部	医学科	四国研究医型	8人

(注) 合格者が募集人員に満たなかった場合は、不足人員を一般選抜前期日程で補充します。

2 出願要件及び選抜方法等

- (1) 同入試で本学に入学を志願する者は、令和4年度大学入学共通テストのうち本学が指定した全教科・科目を受験する必要があります。指定した教科・科目を受験しなかった者は、無資格者となります。
 なお、本学では、過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。

(2) 第1次選考について

- ① 医学部医学科については、令和3年11月19日(金)に第1次選考を実施します。

(3) 試験実施日時及び場所

第1次選考を通過した者に対して、下記試験場で面接等を行います。集合時間等の詳細については、第1次選考結果通知を送付する際に、併せて通知します。

学部名	日 時			場 所
医学部	令和3年11月27日(土)	総合討論, 個人面接	9:00~	医学部(蔵本キャンパス) 徳島市蔵本町3丁目18番地の15

(注) 試験開始30分前までに入室してください。

(4) 出願要件及び選抜方法等

実施学部・学科名	医 学 部	
募集人員	医 学 科	
募集人員	8人(各県受入人員の目安=徳島県2人, 香川県2人, 愛媛県2人, 高知県2人)	
出 願 要 件	次の要件をすべて満たしている者で、合格した場合は入学を確約できる者とする。 (1) 次にあげる地域の高等学校 ^(注1) を令和2年4月1日から令和4年3月31日までに卒業または卒業見込みであり、令和4年度大学入学共通テストにおいて本学科が指定した全教科・科目を受験する者 【徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県】 (2) 大学入学後、直ちに下記を確約できる者 ・徳島大学大学院医学研究科において大学院進学(MD・PhDコース又は卒業後3年以内に4年間の博士課程) ・徳島大学病院又は徳島大学病院が指定する主要基幹病院において2年間の初期臨床研修 (3) アドミッション・ポリシーを深く理解し、合致していることを明確に示すことができる者 (4) 高等学校における調査書全体の学習成績の状況が3年次1学期あるいは前期終了時点で4.3以上の者	
	第1次選考, 第2次選考そして大学入学共通テストの成績を総合して判定します。 1 第1次選考(書類審査:200点)	
	書類等の種別	内 容
	志望理由書	医学部医学科を志望する理由・動機, 入学後に学びたいこと及び将来への抱負を400字程度で具体的に記述して提出してください。志望理由書の点数化は行いませんが, 参考資料として面接時の評価に用います。

活動報告書	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）」を評価し、「資格・検定等」の成績を参考にします。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認してください。
調査書	アドミッション・ポリシーに基づいて評価します。
確約書	[記入上の注意] に留意の上、本人の自筆で記入してください。

2 第2次選考〔総合討論／個人面接〕

(1) 総合討論〔400点〕

- ①（小論文形式）日本語で書かれた文章や図表等により、記述・論述式の出題を行います。（90分）
- ②（集団討論）①の解答終了後に出題内容の中の題材による集団討論を行います。
- ③（まとめレポート）②の終了時に討論のまとめに関する簡単なレポート作成を行います。

(2) 個人面接〔300点〕

複数の面接担当者による個人面接を行います。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定します。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがあります。

3 大学入学共通テスト〔合計：900点〕

最終選考は、総合討論及び個人面接による試験に合格した者で、大学入学共通テストの成績が本学部の指定する各科目の合計点（900点満点（傾斜後の配点））の概ね75%以上の者を最終合格とします。

利用教科・科目名		配点
国	国	200
地歴	世B、日B、地理B	} から1 <small>（注2）</small>
公民	現社、倫、政経、倫・政経	
数	数Ⅰ・数A	200
	数Ⅱ・数B	
理	物、化、生から2（科目選択方法D）	200
外	英、独、仏、中、韓から1	200
配点合計		900

選抜方法等

4 医学部医学科総合型選抜の合否判定方法について

(第1次選考)

第1次選考は、各県受入人員の目安を考慮して、書類審査の成績で判定します。第1次選考の最大通過者数は、受入人員の目安の4倍程度（各県）までとします。

(第2次選考)

第2次選考は、第1次選考の成績及び総合討論・個人面接の成績を総合して判定します。第2次選考通過最低基準点（第2次選考受験者の総合点の平均点を目安）を設定し、当該基準点に達した者の中から、各県の成績上位2名を第2次選考通過対象者とします。2名に達しない県がある場合は、県に関係なく、第2次選考通過最低基準点に達した成績上位者（すでに決定した第2次選考通過対象者を除く）から欠員分を通過対象とします。なお、第2次選考通過者は、受験者数の状況等により募集人員の8名に満たない場合もあります。

5 医学部医学科総合型選抜の同点者の扱いについて

合格者の最低点において、第1次選考・第2次選考の得点合計が同点の場合、下記に記載する順番で点数の高い者を第2次選考通過者とします。

- ① 第2次選考の合計点
- ② 個人面接の得点

備考	<p>(注1) 「出願要件」欄の「高等学校」には、中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。</p> <p>(注2) 「地理歴史」、「公民」を2科目受験した場合は、「第1解答科目」を利用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MD・PhDコースは、医学科4年生終了時点で大学院に進み研究力を身につけ、医学博士(PhD)を取得した後、5年生に戻り医師の免許(MD)を取得するコースです。詳細は、徳島大学医学部教育支援センターHP (https://www.tokushima-u.ac.jp/scme/MD-PhD/) をご確認ください。 ・各県受入人員の目安は入学定員ではありません。
第1次選考日	<p>令和3年11月19日(金)</p> <p>第1次選考の結果を同日付けで本人に文書により発送します。令和3年11月23日(火)までに到着しない場合は、必ず入試課に電話照会してください。</p> <p>また、同日16時以降に本学ホームページにも通過者受験番号を掲載します。</p>
第2次選考日	<p>令和3年11月27日(土) 9:00~</p> <p>第2次選考(総合討論及び個人面接)の通過結果については、令和3年12月10日(金)付けで本人に通知します。また、同日16時以降に本学ホームページにも通過者受験番号を掲載します。</p>

(5) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

本学が指定する大学入学共通テストの利用教科・科目は次のとおりです。

なお、大学入学共通テストの成績が選考基準の得点に満たない場合は、合格者となり得ません。

- ① 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニング」を含み、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）をそれぞれ200点満点、50点満点に換算して利用します。
- ② 「地理歴史」、「公民」及び「理科」について1科目が課されている場合、2科目受験者については、「第1解答科目」の成績を採用します。

ただし、出願する学部等が指定する科目を「第1解答科目」で受験しておらず、「第2解答科目」で受験している場合は、当該利用教科を受験したもとは見なしますが、成績は「0点」とします。

- ③ 理科の科目選択方法は、次のとおりです。

大学入試センターが定めているA～Dの出題科目の選択方法に基づくものです。

なお、実際に選択可能な方法及び科目は学部等毎で異なり、個別に指定があります。

A：基礎を付した科目群から2科目選択

B：基礎を付していない科目群から1科目選択

C：基礎を付した科目群から2科目選択及び基礎を付していない科目群から1科目選択の合計3科目選択

D：基礎を付していない科目群から2科目選択

- ④ 2科目を課す教科の配点は、合計得点を表記しており、それぞれの配点は同点とします。

- ⑤ 専門学科に関する科目について

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を利用することとしている学科等において、当該科目を選択できる者は、高等学校（中等教育学校、高等部をおく特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）の専門学科及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した（見込みを含む。）者に限ります。

(6) 令和4年度大学入学共通テスト利用教科・科目確認表

学部・学科等		国語	地理歴史				公民			数学①		数学②				理科①				理科②				外国語						
		国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅱ	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語(リスニング含む)	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	
医学部	医学科	◎	×	○	×	○	×	○	○	○	○	×	◎	×	◎	×	×	科目選択方法D				○	○	○	○	○	○	○	○	○
		㊦	㊦								㊦																			

(注) 1 ① ◎印は必ず受験しなければならない科目、○印は選択科目を示す。
 ② □囲みの数字は成績利用教科数を示す。

3 出願手続

(1) インターネット出願

インターネット出願サイトでの入力、検定料の支払いだけでは、出願は完了しません。調査書や出願に必要な書類等が提出期間内に大学へ到着して、出願が受理されます。

また、「インターネット出願利用に関する手順」は仕様が変更になる場合がありますので、インターネット出願のガイダンス画面を必ず確認してください。

① 願書受付期間

＜インターネットでの出願情報の登録及び検定料の支払期間＞

令和3年10月22日(金)00時00分～10月29日(金)15時00分

＜出願書類の提出期間＞

令和3年10月22日(金)～10月29日(金)

(注) 郵送が必要な出願書類は、令和3年10月29日(金)17時必着です。ただし、令和3年10月27日(水)までの消印があるものに限り、期限後到着の場合も受領します。

出願情報の登録及び検定料の支払い期限に関わらず、郵便事情を十分考慮のうえ、期間内に到着するよう発送してください。

② インターネット出願利用に関する手順

＜手順1：事前準備＞

インターネット出願を利用するために、下記を準備してください。

準備物	注 意 点
インターネットが利用できるパソコン、スマートフォン等の機器	スマートフォンの場合は、PDFファイル利用のためのアプリが必要です。
A4用紙が出力できるプリンタ等の印刷環境	自宅に印刷環境が無い場合は、学校・コンビニ等での印刷環境も利用できます。
メールアドレスの準備	メールの指定受信等の設定をしている場合は、インターネット出願のガイダンス画面を確認し、出願サイトから配信されるメールを受信できるよう対応してください。
出願者の写真データ	デジカメ、スマートフォン等で撮影可能です。プリントされた写真の再撮影等不鮮明な写真は、出願を受付できませんので、ご注意ください。
検定料支払い準備	＜手順4＞で検定料の支払いを確定しますので、あらかじめ支払い方法をご確認ください。検定料は、17,000円です。大規模自然災害により被災した入学志願者に対して、検定料を免除することがあります。検定料免除の詳細については、徳島大学ホームページをご覧ください。

ご家庭にインターネットを利用できる環境が無い場合は、学校、図書館等のセキュリティ対策が信頼できる場所での利用をお願いします。また、お近くにそれらの環境が無い場合は、出願締切日5日前までに本学入試課にご相談ください。

＜手順2：インターネット出願サイトにアクセス＞

下記URLにアクセスしてください。インターネット出願サイト公開後、入力を進めることができます。ただし、検定料の支払い及び出願情報登録の完了は、出願期間内のみとなります。

出願方法等の詳細や注意事項が記載されていますので、必ず確認してください。

https://www.tokushima-u.ac.jp/admission/exam/net_entry/

＜手順3：利用登録＞

インターネット出願のガイダンス画面に従って、メールアドレスの登録、パスワードの設定を行ってください。

＜手順4：出願情報の登録、出願申込・検定料の支払方法の選択、支払＞

手順3で登録されたメールアドレスに出願登録のURLを送付します。本URLから出願情報の登録を行い、検定料*の支払方法(クレジットカード・コンビニエンスストア・銀行ATM < Pay-easy >)を選択して出願申込

を行ってください。出願申込後に、検定料を指定した方法でお支払ください。なお、決済手数料が550円発生します。

※検定料は、支払期間内にお支払いください。また、支払方法の詳細は必ずガイダンス画面で確認してください。

<手順5：出願書類の提出>

検定料の支払い後、直ちに郵送が必要な出願書類等（別表1参照）を提出期間内に郵便局の窓口で「簡易書留速達」として、本学入試課へ発送してください。入試課に出願書類が到着して、出願完了となります（出願書類の持参は対応しておりませんので、必ず郵送してください）。

なお、発送の際に郵便局の窓口で受け取った「書留郵便物受領証」は、出願したことの証明書類として大切に保管しておいてください。

<手順6：受験票の印刷>

本学で出願を受理した志願者については、令和3年11月10日(水)以降に、インターネット出願サイトから受験票をダウンロードできるようになります。ご自身で印刷し、試験当日にご持参ください。

■別表1 郵送が必要な出願書類等

書類等の種別	取得方法	記入方法・注意事項等
入学願書 (インターネット出願票)	検定料支払手続き完了後に、インターネット出願サイトから取得してください。	写真データの取込が必要です。詳細は、ガイダンス画面を確認してください。
活動報告書		インターネット出願サイト上で、直接入力してください。検定料支払手続き完了後に印刷できるようになりますので、印刷の上他の出願書類と併せて提出してください。なお、「『活動報告書』作成要領」を確認してください。
志望理由書	本学ホームページ (https://www.tokushima-u.ac.jp)「入試案内」→「インターネット出願」から取得してください。	[記入上の注意]に留意の上、所定の用紙に志望者本人が自筆で書いてください。
確約書		
調査書	各高等学校にてご準備ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・出身高等学校の長が、文部科学大臣の定めた様式により作成してください。 ・大学入学者選抜実施要項における「調査書記入上の注意事項について」に準拠して作成し、厳封してください。徳島大学では、全選抜において調査書に特別な記述を求めることや、調査書の参考となる資料の提出を求めることはありません。 ・学習成績概評がⒶに該当する場合は、その表示を希望します。この場合、「備考」欄にその理由を必ず明示してください。
出願書類提出用封筒	角形2号封筒(240mm×332mm)を、ご自身でご準備ください。	「入学願書送付先PDF」 ^(注1) を出力し、必要事項をご記入の上、封筒表面にはってください。 上記の郵送が必要な出願書類等を入れ、簡易書留速達で送付できる料金分の切手をはって、送付してください。
大学入学共通テスト成績請求票	ご自身でご準備ください。	第1次選考及び第2次選考を通過した者は、大学入学共通テスト受験票に添付されている国立大学用の「 総合 共通テスト成績請求票」を提出してください。 なお、提出方法等は通過結果を送付する際に併せてお知らせいたします。
障がいのある入学志願者との事前相談回答文書(写し) ※申請者のみ	申請された方には、入試課より回答文書を送付します。	回答文書の写しを上記出願書類と併せて提出してください。

(注1) 「入学願書送付先PDF」は、検定料支払手続き完了後に、インターネット出願サイトから印刷できるようになります。

(2) 出願に際しての注意事項

- ① 本学総合型選抜に出願する者は、合格した場合、入学を確約できる者としてします。したがって、下記の要件を課します。
 - ア 本学の総合型選抜で不合格となった場合に備えて、本学及び他の国公立大学一般選抜へ出願することが可能です。しかし、本学の総合型選抜に合格し入学手続きを完了した者は、本学及び他の国公立大学一般選抜の合格者となりません。
 - イ 本学の総合型選抜合格者で、入学を辞退し一般選抜への受験を志望する者は、本学の定める入学辞退手続により入学の辞退を承認されない限り、本学及び他の国公立大学一般選抜の合格者となりません。
 - ウ 本学の総合型選抜に出願する場合、本学及び他の国公立大学への学校推薦型選抜、総合型選抜へ出願はできません。ただし、第1次選考及び第2次選考の未通過者に限り、それ以降に出願可能な国公立大学への学校推薦型選抜等に出願することができます（通過者は、一般選抜を除き、出願することはできません）。
 - エ 総合型選抜に出願する者は、本学の学校推薦型選抜Ⅱの医学部医学科地域枠には出願できません。
- ② 出願書類等に不備がある場合は受理しません。また、受理後は記載事項の変更を認めません。
なお、一度受理した出願書類及び領収した検定料は、31ページ8に該当する場合を除き、返還しません。
- ③ 出願書類に虚偽の記載をした者及びその他不正な事実が判明した者については、入学後であっても、入学の許可を取り消すことがあります。

【出願に関するお問い合わせ先】

(インターネット出願の操作方法についてのお問い合わせ)

出願操作サポート窓口 (運営会社：京都電子計算株式会社)

TEL：075-211-6556

受付時間：令和3年10月22日(金)～10月29日(金) 9時～17時 (平日)

(上記以外のお問い合わせ)

徳島大学入試課 TEL：088-656-7091

受付時間：8時30分～17時 (平日)

4 本学受験票について

本学で出願を受理した志願者については、下記の日程でインターネット出願サイトから受験票をダウンロードできるようになります。ご自身で印刷し、試験当日にご持参ください。

受験票ダウンロード開始日
令和3年11月10日(水)

5 その他の注意事項

- ① 本入試では合格者が募集人員に満たない場合があります (不足人員は一般選抜前期日程で補充します)。
- ② 出願時に登録した住所を変更する場合は、速やかに届け出てください。
- ③ 出願にあたっての不明な点については、入試課に照会してください。

6 合格者の発表

合格者の受験番号を次のとおり発表します。また、合格者には同日付けで合格通知書を送付します。
なお、電話等による合否の問い合わせには応じられません。

発表日時	発表方法
令和4年2月15日(火)16時	本学ホームページに1週間程度掲載

(注) ホームページに掲載する合格者情報は、情報提供サービスの一環として行うものであり、合格通知書を公式のものとしてします。

7 入学手続

令和3年11月22日修正

令和4年度入試より、WEB入学手続システムを導入します。合格者には、合格通知とともに入学手続書類を送付します。下記期間内に、WEB入学手続システムにより手続を行ってください。持参による手続は認めません。

郵送する書類（入学手続システム入力期間最終日の消印有効）もありますので、詳しい手続方法等については、入学手続書類をご確認ください。

(1)入学手続日時

入学手続システム入力期間	
総合型選抜	令和4年2月16日(水)～2月21日(月) 15時まで
学校推薦型選抜Ⅱ	

(2)入学手続に際しての注意事項

- ① 本学の入学手続を完了した者が、これを取り消して他の国公立大学の入学手続を行うことはできません。また、他の国公立大学の入学手続を完了した者が、これを取り消して本学の入学手続を行うことはできません。
- ② 既納の入学料は、返還しません。
- ③ 期間内に入学手続を完了しなかった者は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。
- ④ 入学手続完了後に高等学校を卒業できないことが判明した者については、入学許可を取り消します。
- ⑤ 入学料及び授業料には、減免と給付型奨学金制度があります。（32ページ10参照）
詳細は、入学手続書類を参照してください。
- ⑥ 授業料の納付は、原則として口座振替により行います。詳細は入学手続書類発送の際に送付する説明書を熟読の上、所定の方法により手続を行ってください。
なお、申出により、前期分納入の際、窓口納付の場合は、後期分もまとめて納入することができます。
現行の授業料（前期分）は総合科学部・医学部・歯学部・薬学部・理工学部（昼間）・生物資源産業学部が267,900円（年額535,800円）、理工学部（夜間主）が133,950円（年額267,900円）です。授業料の改定を行った場合は、改定時から新たな金額を適用します。
- ⑦ 入学料、授業料以外に、学生教育研究災害傷害保険料、後援会費等の納付が必要です。金額は学部により異なります。
詳細は、入学手続書類を参照してください。
- ⑧ 入学手続後、特別な事情により入学を辞退する必要がある場合は、令和4年3月28日(月)15時までに合格した学部連絡の上、入学辞退許可願（本学所定の様式）を令和4年3月31日(木)必着で提出してください。

そ の 他

1 「活動報告書」の作成要領について

「活動報告書」は、①の表で示す各学部・学科の選抜区分で活用します。「活動報告書」は「意欲的に取り組んだ活動」「資格・検定等」の2つの内容で構成されますが、各学部・学科によって活用方法が異なりますので注意してください。「活動報告書」は、インターネット出願時に入力・作成し、各自のプリンタで出力後、提出する書類です。「活動報告書」は、各学部・学科で定めるアドミッション・ポリシーに基づいて評価を行うため、この作成要領をよく読んで、提出してください。

参考) 本学を含む四国国立5大学においては、進学希望の方に高校等での活動歴を記録するための自由利用サイトとして、「進学支援サイト（通称：今ログ）」を開設して、受験準備に配慮しています。「進学支援サイト」の利用は、本学の入学者選抜における評価との関連は一切ありませんが、事前に入力しておけば、インターネット出願時に一部の情報を利用することができ、出願をスムーズに行うことができます（出願時の内容は各自でご確認ください）。なお、「進学支援サイト」は、本学専用のシステムではないため、入力項目全ての情報を本学が利用するものではありません。この作成要領をよく読んで、出願準備を進めてください。

※ 進学支援サイト（通称：今ログ） <https://portal.postanet.jp/shikoku/>

① 「活動報告書」を活用する学部・学科と選抜区分、及び各選抜区分における提出書類について

学部・学科	選抜区分	提出書類	
		「意欲的に取り組んだ活動」シート A ^{注1)}	「資格・検定等」シート B
医学部 医学科	総合型選抜	○（2件まで）	○（参考扱い）
歯学部 口腔保健学科	学校推薦型選抜Ⅱ	○（2件まで）	○（参考扱い）
薬学部 薬学科	学校推薦型選抜Ⅱ	○（1件）	○（参考扱い）
理工学部 （昼間・夜間主）	学校推薦型選抜Ⅰ（昼間・夜間主） ^{注2)}	○ ^{注3)} （1件）	○（参考扱い）
	学校推薦型選抜Ⅱ（昼間のみ）	○（1件）	不要
生物資源産業学部	学校推薦型選抜Ⅰ ^{注4)}	○ ^{注5)} （1件）	○（参考扱い）
	学校推薦型選抜Ⅱ	○（1件）	不要

注1) 受験者が作成する「シートA」の件数は1件もしくは2件となります（学部により異なる／以下詳細）。

なお、インターネット出願で入力した後のプリンタ出力時は、1枚で出力される様式となります。

● 1件の場合

シートAの1件目の作成は必須とします。シートAの2件目は空欄で提出してください（2件目を作成していた場合は、2件目の審査を行いませんのでご注意ください）。

● 2件までの場合

シートAの1件目の作成は必須ですが、2件目の作成は任意です。件数は評価の対象ではありませんので、1件目のみの提出でも差し支えありません（その場合、2件目は空欄で提出）。

注2) 理工学部の推薦Ⅰは高等学校の工業に関する学科を対象。

注3) 理工学部の推薦Ⅰは、高等学校の工業に関する学科特有の活動報告を作成してください。

注4) 生物資源産業学部の推薦Ⅰは高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科を対象。

注5) 生物資源産業学部の推薦Ⅰは、高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科特有の活動報告を作成してください。

② 「活動報告書」に必要な提出書類

● 「意欲的に取り組んだ活動」：シート A

中学校卒業後に「意欲的に取り組んだ活動」（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）を作成できます。

【「意欲的に取り組んだ活動」の入力方法】

- ・タイトルを入力してください（20字程度）。
- ・この活動を行った期間を選択してください。

【選択：2年以上、1年以上2年未満、6ヵ月以上1年未満、3ヵ月以上6ヵ月未満、3ヵ月未満】

- ・あなたが行った活動の説明を上限300字（句読点を含む）で入力してください。評価する対象は活動の成果だけではありません。活動のプロセスや変容などを踏まえ、各学部・学科で定めるアドミッション・ポリシーをよく理解した上で作成してください。
- ・参考資料（活動の裏づけを示す重要な資料）を提出できます。入力時は、提出の有無を選択してください。提出する場合は、書類名と総枚数を必ず入力してください。参考資料の添付は任意ですが、「意欲的に取り組んだ活動」に関する裏づけの資料として利用してください（上限300字内で活動の裏づけを説明できる場合もあるため、任意としています）。

【注意事項】

- ・タイトルは、どのような活動を簡潔に入力するものです。入力した活動の説明内容と整合性が取れるように、20字程度で明確にまとめてください。
- ・中学校卒業前から継続して取り組んでいる活動がある場合は、活動の説明内に入力することは差し支えありませんが、期間の選択は、中学校卒業後の活動期間として選択してください。
- ・書類提出後の差し替えや再提出は、一切認めていません。
- ・理工学部の推薦 | 受験者、生物資源産業学部の推薦 | 受験者は、①の「注」を必ず確認してください。

【参考資料について】

- ・参考資料を面接時に確認する場合があります。
- ・参考資料は原本あるいはコピー（フルカラー等は不問）のいずれでも構いませんが、返却はしませんので注意してください。参考資料は、原則として紙媒体（A4片面、A3は二つ折り片面が基本で、受験者の氏名記載又は記入のあること／両面印刷や電子媒体不可）で準備し、参考資料が1件目・2件目（2件目を提出する場合）のいずれに関連するものかわかるようにしてください。なお、枚数等の制限はありませんが、簡略化してください。1件につき参考資料が2枚以上となる場合は、参考資料のみをホチキス止めしてください（シートAはホチキス止めせず、参考資料を重ねて提出してください）。

● 「資格・検定等」：シート B

取得した資格、合格した検定等（コンテスト、大会の受賞歴等含む）を入力できます（取得時期は限定しません）。英語に関するものは3件まで、英語以外に関するものは10件まで入力できます。件数は評価の対象ではありません。

【「資格・検定等」の入力方法】

- ・英語に関するものは、画面の表示内容から試験名を選択してください（3件まで）。選択後、スコア（総合）や合格した級、取得等の年月を入力してください。英語に関するものの取得がない場合は、選択・入力する必要はありません。
- ・英語以外に関するものは、取得した資格や合格した検定等（コンテスト、大会の受賞歴等）、取得等の年月を入力してください（10件まで）。英語以外に関するものの取得がない場合は、入力する必要はありません。

【注意事項】

- ・本人の氏名が記載された合格証書、認定書、賞状など、シートBに入力された内容を証明できる書類を必ず提出してください（提出していない場合は、審査の対象外となります）。本書類は、コピー（フルカラー等は不問）で構いませんが、返却はしませんので注意してください。
- ・コンテスト、大会等は、内容を証明できる書類があれば、予選通過や1次選考通過等に関する入力をして差し支えありません。
- ・出願時に、証明できる書類の準備が整うものを対象とします。証明できる書類が出願期間後に発行される場合は対

象となりません。

- ・証明できる書類が2枚以上となる場合は、まとめてホチキス止めしてください（シートBはホチキス止めせず、証明できる書類を重ねて提出してください）。
- ・シートBは、資格・検定等を必ず取得することを前提としていません。資格・検定等の取得がない場合は、入力する必要はなく、空欄のままにして提出してください（空欄でもシートBの提出は必要となります）。
- ・書類提出後の差し替えや再提出は、一切認めていません。
理工学部の推薦Ⅱ受験者、生物資源産業学部の推薦Ⅱ受験者は、シートBの提出は不要です。

2 令和5年度徳島大学入学者選抜における変更事項について

現時点で決定している、令和5年度入試における選抜方法の変更についてお知らせします。

医学部医科栄養学科

① 一般選抜（前期）

【追加内容】 個別学力検査等に「個人面接」を新規実施

学 科	変更後	変更前
医科栄養 学 科	個別学力検査等 外国語（英語）（配点：200点） 個人面接（配点：200点）	個別学力検査等 外国語（英語）（配点：200点）

医学部保健学科検査技術科学専攻

① 一般選抜（前期）

【追加内容】 個別学力検査等で「志望理由書」を新規実施

専 攻	変更後	変更前
検査技術 科 学	個別学力検査等 数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B）（配点200点） 外国語（英語）（配点200点） 志望理由書（配点40点）	個別学力検査等 数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B）（配点200点） 外国語（英語）（配点200点）

（補足）「志望理由書」における選抜内容

当専攻への志望理由について、今までの学生生活等の状況も踏まえて、400字以内で簡潔に作成して提出する。

調査書を参考にしつつ、アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。なお、学校推薦型選抜Ⅱに出願した者は、当該選抜に提出した「志望理由書」の写し（コピー）を一般選抜の出願時に提出しても差し支えない（学校推薦型選抜Ⅱの出願有無が可否に影響することはありません）。

※重点評価項目：「関心・意欲・態度」

医学部保健学科看護学専攻

① 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

【変更内容】 推薦の要件／高等学校における調査書の全体の学習成績の状況の値の変更

専 攻	変更後	変更前
看 護 学	推薦の要件 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者	推薦の要件 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者

理工学部

① 学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

【変更内容】理工学科 光システムコース 次世代光フロンティア入試 新規導入

学 科	変更後	変更前																			
理工学科 光システムコース	<p>[募集人員] 5人程度</p> <p>[推薦の要件] 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者とします。</p> <p>(1) 高等学校を2023年3月卒業見込みの者で、次の教科・科目を履修した（見込みを含む。）者</p> <p>① 普通科に在籍している者</p> <table border="1" data-bbox="359 517 1062 636"> <thead> <tr> <th colspan="2">履修教科・科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数 学</td> <td>数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B</td> </tr> <tr> <td>理 科</td> <td>物理基礎，化学基礎，物理，化学</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 理数に関する学科に在籍している者</p> <table border="1" data-bbox="359 678 1062 797"> <thead> <tr> <th colspan="2">履修教科・科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数 学</td> <td>理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>理 科</td> <td>理数物理，理数化学</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 専門教育を主とする学科に在籍している者（①の教科・科目でも可）</p> <table border="1" data-bbox="359 840 1062 999"> <thead> <tr> <th colspan="2">履修教科・科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">数 学</td> <td>数学Ⅰ，数学Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>工業数理基礎，簿記・会計，情報関係基礎から1</td> </tr> <tr> <td>理 科</td> <td>科学と人間生活，物理基礎，化学基礎から2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 学業成績、人物ともに優れ、発光・受光素子、光材料、光情報、医学・光学融合分野など次世代光科学に関する研究に強い関心を持ち、将来、光科学を通じて生活を豊かにすることに意欲を有する者</p> <p>(3) 調査書全体の学習成績の状況が4.0以上の者であり、公益財団法人英語検定協会実用英語技能検定（CSE2.0）が1,700点以上の者又は「英語」の学習成績の状況が4.3以上の者</p> <p>[推薦人員] 各高等学校から推薦できる人員は、1校当たり1人です。</p> <p>[選抜方法等] 下記1～2の選抜結果を総合して判定します。 ただし、入学志願者数等の状況によっては、「1 書類審査」の内容により第1次選考を行うことがあります。この場合は、第1次選考合格者にのみ、第2次選考として、個人面接を行います（総得点：150点満点）。</p> <p>1 書類審査（50点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査書 ・活動報告書（「意欲的に取り組んだ活動」「資格・検定等」） ・志望理由書 ・推薦書 <p>2 個人面接（口頭試問を含む）（100点）</p> <p>※口頭試問は「数学（数Ⅲまで）」の中から試問する。</p> <p>[備考]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定（通称：英検）の成績は、出願時まで已取得したもの（受験日が出願時点より遡り2年6ヶ月以内であること）に限り、「従来型」「新方式」のいずれの成績でも構いません。活動報告書「資格・検定等」を利用の上、必要書類を提出してください。 ・口頭試問の得点が一定水準以下の場合は、合計点のいかんに関わらず不合格とします。 	履修教科・科目名		数 学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B	理 科	物理基礎，化学基礎，物理，化学	履修教科・科目名		数 学	理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ	理 科	理数物理，理数化学	履修教科・科目名		数 学	数学Ⅰ，数学Ⅱ	工業数理基礎，簿記・会計，情報関係基礎から1	理 科	科学と人間生活，物理基礎，化学基礎から2	当該入試実施なし
履修教科・科目名																					
数 学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B																				
理 科	物理基礎，化学基礎，物理，化学																				
履修教科・科目名																					
数 学	理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ																				
理 科	理数物理，理数化学																				
履修教科・科目名																					
数 学	数学Ⅰ，数学Ⅱ																				
	工業数理基礎，簿記・会計，情報関係基礎から1																				
理 科	科学と人間生活，物理基礎，化学基礎から2																				

② 一般選抜（後期）

【追加内容】 個別学力検査等で「志望調書」を新規実施

学 科	変更後	変更前
理工学科	個別学力検査等 数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B）（配点350点） 志望調書（配点：25点）	個別学力検査等 数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B）（配点350点）

（補足）「志望調書」における選抜内容

試験実施日当日（個別学力検査（数学）終了後）において、志望するコースへの志望理由等に関連したテーマ・内容1題を提示し、志望調書を作成（300字以内：40分）して提出する。資料の持込は認めない。アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。

※重点評価項目：「関心・意欲・態度」

③ 受入人員の目安

【変更内容】 光システムコース 次世代光フロンティア入試新規導入に伴い受入人員の目安を変更

学 科	変更後	変更前																						
理工学科	理工学部理工学科 受入人員の目安										理工学部理工学科 受入人員の目安													
	昼 間 / 夜 間 主		昼 間					夜 間 主					昼 間 / 夜 間 主		昼 間					夜 間 主				
	区 分	受入人員の目安	前期	後期	推薦Ⅰ	推薦Ⅱ	受入人員の目安	前期	推薦Ⅰ	推薦Ⅱ	受入人員の目安	前期	推薦Ⅰ	推薦Ⅱ	受入人員の目安	前期	推薦Ⅰ	推薦Ⅱ	受入人員の目安	前期	推薦Ⅰ	推薦Ⅱ		
	数理科学コース	30	19	5		6									30	19	5		6					
	自然科学コース	34	20	5		9									34	20	5		9					
	社会基盤デザインコース	79	41	12	2	24	10	10	若干人						79	41	12	2	24	10	10	若干人		
	機械科学コース	108	59	22	2	25	10	10	若干人						108	59	22	2	25	10	10	若干人		
	応用化学システムコース	78	37	15	2	24	5	5	若干人						78	37	15	2	24	5	5	若干人		
	電気電子システムコース	98	61	13	2	22	10	10	若干人						98	61	13	2	22	10	10	若干人		
	知能情報コース	74	40	10	1	23	10	10	若干人						74	40	10	1	23	10	10	若干人		
	光システムコース	49	23	10	1	5	10								49	27	11	1	10					
	< 総 計 >	550	300	92	15	143	45	45	若干人						550	304	93	10	143	45	45	若干人		

生物資源産業学部

① 学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

【変更内容】地方創生型＜地域産業振興枠＞の新規導入

学 科	変更後	変更前
生物資源 産業学科	<p>[募集人員] 2人程度</p> <p>[推薦の要件] 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としします。</p> <p>(1) 高等学校を2023年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、自ら住む地域の農林水畜産業や生物資源産業に愛着をもち、将来において地域産業振興のリーダーとして実現性のある新しい価値を創造し、地方創生に意欲を持つ者</p> <p>(2) 大学又は大学院卒業後に、徳島県内高校卒業者は徳島県内、徳島県外高校卒業者は出身都道府県内もしくは徳島県内におけるバイオ産業、食品産業、1次産業、6次産業のいずれかの担い手として強く志望する者</p> <p>(3) 調査書全体の学習成績の状況が4.0以上の者であり、公益財団法人英語検定協会実用英語技能検定（CSE2.0）が1,700点以上の者又は「英語」の学習成績の状況が4.3以上の者</p> <p>(4) 高等学校で「化学」又は「理数化学」のいずれかを履修した（見込みを含む）者</p> <p>[推薦人員] 各高等学校から推薦できる人員は、1校当たり1人です。</p> <p>[選抜方法等] 下記1～3の選抜結果を総合して判定します。 ただし、入学志願者数等の状況によっては、「1 書類審査」の内容により第1次選考を行うことがあります。この場合は、第1次選考合格者にのみ、第2次選考として、小論文、個人面接を行います（総得点：650点満点）。</p> <p>1 書類審査（150点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査書 ・活動報告書（「意欲的に取り組んだ活動」「資格・検定等」） ・学びの設計書 ・推薦書 <p>2 小論文（300点）</p> <p>3 個人面接（プレゼンテーション、口頭試問が中心）（200点）</p> <p>※プレゼンテーションは「学びの設計書」に関する内容（日本語で5分）^注</p> <p>※口頭試問は「化学・化学基礎」</p> <p>[備考] ※本枠はいわゆる「地域枠」ではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科全体で選抜（コース確定は2年次） ・実用英語技能検定（通称：英検）の成績は、出願時まで取得したもの（受験日が出願時点より遡り2年6ヶ月以内であること）に限り、「従来型」「新方式」のいずれの成績でも構いません。活動報告書「資格・検定等」を利用の上、必要書類を提出してください。 ・小論文もしくは口頭試問の得点が一定水準以下の場合は、合計点のいかに関わらず不合格とします。 <p>注）個人面接の「プレゼンテーション」は、「学びの設計書」をもとに説明用資料（A4・1枚～2枚程度：様式任意）を作成し、試験当日に持参することを認めます（作成は任意）。説明用資料は、タイトル、受験番号、氏名を必ず記入（様式は任意）の上、各自で5枚を印刷・持参し、集合時間時に提出してください（返却は一切いたしません）。アドミッション・ポリシー、入学者選抜の基本方針を踏まえ、提出した「学びの設計書」との整合性が取れるようコンパクトに作成してください。なお、プロジェクターの利用は想定していませんが、ホワイトボードを用意しますので利用する場合は面接時に申告してください。</p>	<p>当該 入試 実施 なし</p>

② 学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

【変更内容】 地方創生型＜専門高校・総合学科全国枠，専門高校・総合学科地域枠＞の募集人員並びに配点等の変更

学 科	変更後	変更前
生物資源 産業学科	<p>[本選抜の呼称] 地方創生型（<u>専門高校・総合学科全国枠</u>） 地方創生型（<u>専門高校・総合学科地域枠</u>）</p> <p>[募集人員] <u>6人</u>（<u>専門高校・総合学科全国枠：2人</u>・<u>専門高校・総合学科地域枠：4人</u>）</p> <p>[選抜方法等] 1 書類審査（<u>150点</u>） 2 小論文（<u>300点</u>） 3 個人面接（<u>口頭試問含む</u>）（<u>200点</u>） （<u>口頭試問（「化学・化学基礎」含む</u>）</p> <p>※推薦要件に変更はありません。</p>	<p>[本選抜の呼称] 地方創生型（<u>一般枠</u>） 地方創生型（<u>地域枠</u>）</p> <p>[募集人員] <u>8人</u>（<u>一般枠：4人</u>・<u>地域枠：4人</u>）</p> <p>[選抜方法等] 1 書類審査（<u>300点</u>） 2 小論文（<u>300点</u>） 3 個人面接（<u>口頭試問含む</u>）（<u>400点</u>） （<u>口頭試問（「化学基礎」等含む</u>）</p>

③ 学校推薦型選抜Ⅱ

【変更内容】 大学入学共通テストにおける利用教科の必須科目指定の変更

学 科	変更後	変更前																				
生物資源 産業学科	<p>[教科・配点]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>英語</th> <th>配点計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共テ</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>※共テの理科は「化学」必須（50点），「物理」「生物」から1（50点）（科目選択方法D）</p>		数学	理科	英語	配点計	共テ	100	100	100	300	<p>[教科・配点]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>英語</th> <th>配点計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共テ</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>※共テの理科は「物理」「化学」「生物」から2（科目選択方法D）</p>		数学	理科	英語	配点計	共テ	100	100	100	300
	数学	理科	英語	配点計																		
共テ	100	100	100	300																		
	数学	理科	英語	配点計																		
共テ	100	100	100	300																		

※共通テストの配点の変更はありません。

3 一般選抜追試験受験者について

(1) 出願受付期間について

新型コロナウイルス感染症等に罹患したため一般選抜を欠席して追試験の受験を希望する者は、当該試験日の本学が定める時刻までに追試験願受付を行ってください。

※追試験出願の詳細は、本学ホームページをご確認ください。

(2) 試験実施日時について

一般選抜の追試験は、前期日程・後期日程とも令和4年3月22日（火）に実施します。

※試験の詳細は、本学ホームページをご確認ください。

(3) 合格者発表について

合格者発表は、令和4年3月26日（土）14時に実施します。

※合格者発表の詳細は、59ページ7をご確認ください。

(4) 入学手続について

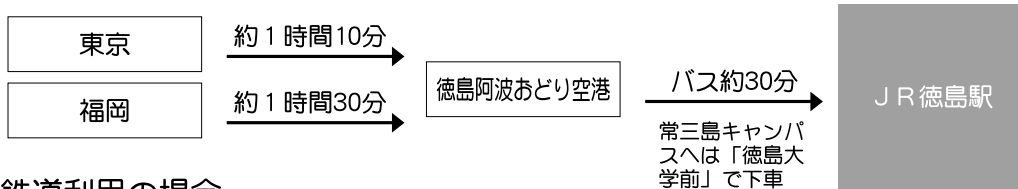
令和4年度入試より、WEB入学手続システムを導入します。合格者には、合格通知とともに入学手続書類を送付します。手続方法等については、本学ホームページで公表しますので、ご確認ください。

位置図



交通アクセス

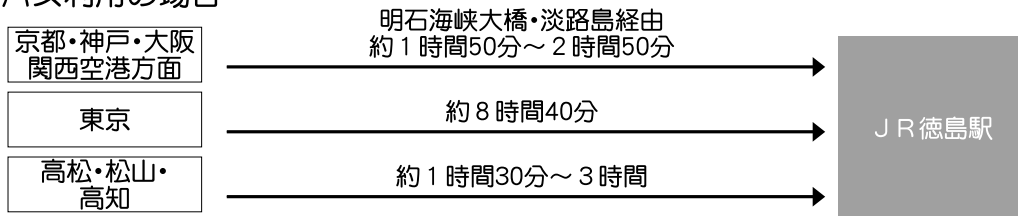
■航空機利用の場合



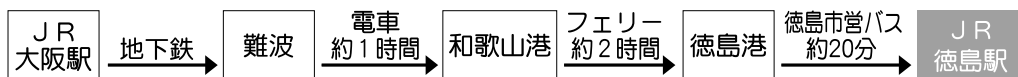
■鉄道利用の場合



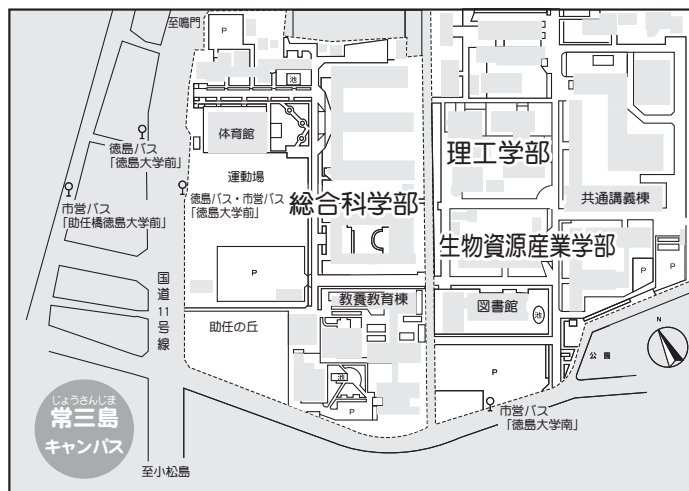
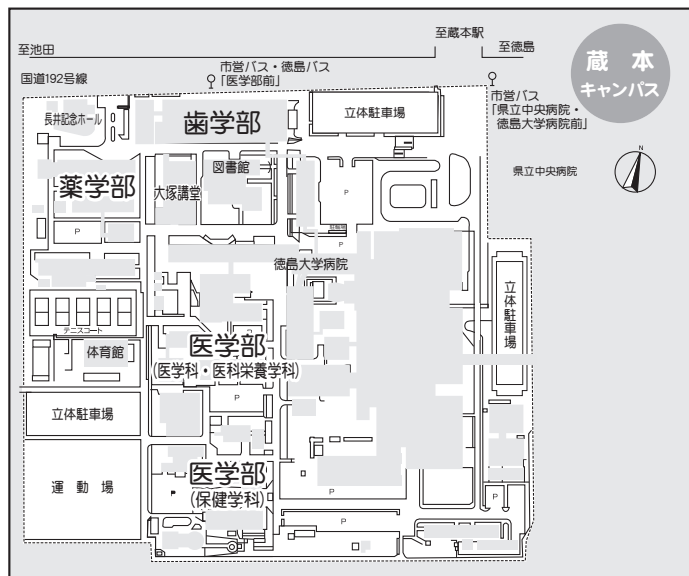
■バス利用の場合





■フェリーボート利用の場合



キャンパスマップ



バス乗場案内 (徳島駅から)

		行き先・路線	降車駅
 蔵本 キャンパス 医学部 歯学部 薬学部	徳島市営バス	上鮎喰	県立中央病院・ 徳島大学病院前 又は 医学部前
		中央循環 (右回り)	
		地蔵院 (新町・佐古・中央病院・大学病院方面)	
		名東 (新町・佐古・中央病院・大学病院・上鮎喰方面)	
	徳島バス	石井上板線	県立中央病院・ 徳島大学病院前 又は 医学部前
		鴨島線	
石井高原線			
神山線 (名東・延命・石井経由)			
 常三島 キャンパス 総合科学部 理工学部 生物資源産業学部	徳島市営バス	商業高校 (徳島大学・南常三島・福住橋方面)	徳島大学南
		島田石橋 (助任橋・中吉野町・田宮方面)	助任橋徳島大学前
		中央循環 (左回り)	
		中央市場 (助任橋・市民病院・城東町・市立高校・金沢町方面)	
	徳島バス	鳴門線	徳島大学前
		鍛冶屋原線	

- JR徳島駅から蔵本キャンパスまで…約4km (乗車時間15分)
- JR徳島駅から常三島キャンパスまで…約2km (乗車時間5分)
- 徳島市交通局ホームページ <http://www.city.tokushima.tokushima.jp/bus/>

※令和3年7月現在

徳島大学
入試情報

- 大学案内・選抜要項等の請求方法
- オープンキャンパス案内
- 試験実施状況
- その他、各種入試情報を時期に応じてお知らせしています。

ホームページ <https://www.tokushima-u.ac.jp>



問い合わせ先

〒770-8501 徳島市新蔵町 2 丁目 24 番地

徳島大学入試課

受付時間：
月～金曜（祝日を除く）
8:30～17:00

Tel 088-656-7091 E-mail nyuinfo@tokushima-u.ac.jp

■ 学生寮に関する事項	Tel 088-656-7078
■ 入学科・授業料免除に関する事項	Tel 088-656-7580
■ 奨学金等に関する事項	Tel 088-656-7111
■ 学部・学科等のカリキュラムに関する事項	
教養教育（学務部教育支援課）	Tel 088-656-7308
総合科学部	Tel 088-656-7108
医学部	
医学科・医科栄養学科	Tel 088-633-7028・7029
保健学科	Tel 088-633-9009
歯学部	Tel 088-633-7310
薬学部	Tel 088-633-7247
理工学部	Tel 088-656-7315・7317
生物資源産業学部	Tel 088-656-8021